

学校法人

関西大学総合案内 2023



関西大学
KANSAI UNIVERSITY



- P2-3 関西大学のあゆみ
- P4-5 設置学校
 - 関西大学
 - 関西大学第一中学校・第一高等学校
 - 関西大学北陽中学校・北陽高等学校
 - 関西大学初等部・中等部・高等部
 - 関西大学幼稚園
- P6-7 学部
 - 法学部
 - 文学部
 - 経済学部
 - 商学部
 - 社会学部
 - 政策創造学部
 - 外国語学部
 - 人間健康学部
 - 総合情報学部
 - 社会安全学部
 - システム理工学部
 - 環境都市工学部
 - 化学生命工学部
- P8-9 大学院・留学生別科
 - 法学研究科
 - 文学研究科
 - 経済学研究科
 - 商学研究科
 - 社会学研究科
 - 総合情報学研究科
 - 理工学研究科
 - 外国語教育学研究科
 - 心理学研究科
 - 社会安全研究科
 - 東アジア文化研究科
 - ガバナンス研究科
 - 人間健康研究科
 - 法科大学院
 - 会計専門職大学院
 - 留学生別科
- P10 関西大学の取り組み
- P11-15 教育・研究
 - 教育推進部
 - セミナーハウス
 - 研究推進部
 - 東西学術研究所
 - 経済・政治研究所
 - 先端科学技術推進機構
 - 法学研究所
 - ソリオネットワーク戦略研究機構
 - 人権問題研究室
 - 図書館
 - 関西大学博物館
 - ITセンター
- P16 社会連携
 - 社会連携部
- P17 都心部での展開
 - 梅田キャンパス "KANDAI Me RISE"
 - 東京センター
- P18-21 学生生活
 - 学生センター
 - 学生寮
 - キャリアセンター
 - エクステンション・リードセンター
 - 学生相談・支援センター
 - 保健管理センター
- P22-24 グローバル人材育成
 - 国際部
- P25 校友会・教育後援会
 - 関西大学校友会
 - 関西大学教育後援会
- P26 事務組織図
- P27 規模の推移
- P28-29 キャンパス案内

～学校法人関西大学の長期ビジョン～



未来を問い、そして挑戦する。

学園の理念 (普遍的理念)

建学の精神 正義を権力より護れ

学 是 学の実化 学理と実際の調和、国際的精神の涵養、
外国語学習の必要、体育の奨励

今日的に解釈し
将来像として提示

全体の将来像：めざすべき関大人像・めざすべき学園像 (20年：2017～2036年)

<テーマ>

「多様性の時代を、関西大学はいかに 生き抜き、先導すべきか。」

<<サブテーマ>>

教 育	変化を続ける社会に、関西大学はいかなる	人材を送り出すべきか。
研 究	学の真価を問われる時代に、関西大学は	どんな知を提示できるか。
社会貢献	社会貢献のあり方において、「関大らしさ」は	どこにあるか。
組織運営	より柔軟で堅牢な組織となるために、	関西大学はどう変わるべきか。

各分野の政策目標 (10年：2017～2026年)

政策目標の8つの分野： ①教育(大学・大学院) ②教育(併設校) ③研究・社会連携 ④国際化 ⑤学生の受入れ ⑥学生支援 ⑦就職・キャリア ⑧組織運営

それは、ひとつの法律学校からはじまった。



関西法律学校創立者の群像

関西大学の前身である関西法律学校は、1886(明治19)年11月4日、大阪控訴院長児島惟謙や、初代校主となる吉田一士ら12人の創立者によって大阪西区京町堀の願宗寺において開校した。このころ明治政府は、国会開設をはじめ、憲法の制定や条約改正を差し迫った課題としていた。そのためにも、法曹の育成が急務とされていたのである。

明治政府から招へいされたフランス人法学者ボアソナードの教えを受けた井上操ら、大阪控訴院・大阪始審裁判所の判事や検事が講師となり、多忙な公務の合間をぬって法学の普及に努めた結果、誕生したのが本学の前身、関西法律学校であった。

関西法律学校の生徒募集広告が新聞紙上で発表されると、400余人もの入学志願者が殺到した。

広く内外の法律および経済学を教授された卒業生は、第1回目から多数の判事、検事および代言人(弁護士)となる。

これが、わが関西大学のルーツである。

自由の尊重 自治の訓練
 たぐいなき 此の学園
 我等期す 人格の向上に
 正義の奉仕 世に為すと
 希うは途 先進の
 歩みきたかに 伝えばや
 関西大学 関西大学
 関西大学 高き権威

真理の討究 学の実化
 たぐいなき 此の学園
 我等有つ 激刺の精神に
 榮ある文化 創るべく
 励むは途 研鑽の
 日々を楽しみ 忘れまじ
 関西大学 関西大学
 関西大学 重き使命

自然の秀麗 人の親和
 たぐいなき 此の学園
 我等立つ 人生の曙に
 燦たる理想 仰ぎつつ
 学歩は途 純正の
 若き心に 讀えなん
 関西大学 関西大学
 関西大学 長き歴史

学歌

服部嘉春 作詞
 山田耕柞 作曲



山岡順太郎 (総理事・第11代学長)

1922(大正11)年6月5日、関西大学は専門学校から大学へと昇格した。大学昇格に尽力した総理事兼学長の山岡順太郎は、自身の大阪財界での経験を踏まえ、「学理と実際との調和」「国際的精神の涵養」「外国語学習の必要」「体育奨励」の4つの柱からなる「学の実化(じつげ)」を提唱し、今に受け継がれる関西大学の理念を示した。

1948(昭和23)年4月、関西大学出身者として最初の学長となった岩崎卯一のもと、関西大学は全国の大学に先駆けて新制大学へと転換した。岩崎学長は「関大ルネッサンス」「関大アカデミア」「ハイト関大」といったスローガンを唱え、学生たちの奮起を促し、第2次世界大戦により荒廃した関西大学の再建に邁進した。



岩崎卯一 (第17代、19代、20代学長)

Since 1886

- 1886(明治19)年
大阪西区京町堀の願宗寺において関西法律学校を開校
法学者ボアソナードの薫陶を受けた司法官の井上操、小倉久、堀田正忠らが吉田一士とともに設立
大阪東区淡路町に校舎を移転
- 1887(明治20)年
大阪北区河内町の興正寺に校舎を移転
- 1903(明治36)年
大阪市西区江戸堀に2階建校舎を新築
- 1904(明治37)年
経済学科を増設
- 1905(明治38)年
「私立関西大学」と改組・改称
大学科、大学予科および専門科(いずれも法律、経済の2学科)を設置
- 1906(明治39)年
商業学科を増設
大阪市北区上福島に福島学舎を建設し、移転
- 1913(大正2)年
関西甲種商業学校(現・関西大学第一高等学校)を開校
- 1922(大正11)年
千里山に学舎を新設
大学令による関西大学として認可され、法学部、商学部と大学予科を設置
学歌を制定
- 1924(大正13)年
専門部に文学科を設置
- 1926(大正15)年
第1回大学祭を開催
- 1929(昭和4)年
大阪市淀川区長柄に天六学舎を新設し、福島学舎から専門部を移転
大学院を開設
- 1947(昭和22)年
関西大学第一中学校を開校
「関大ルネッサンス」宣言。戦後の混乱期中、岩崎卯一学長が大学再建の指導理念を提唱
- 1948(昭和23)年
新制大学に移行、法・文・経済・商の4学部(第1部・第2部)を設置
関西大学付属第一高等学校を開校
- 1950(昭和25)年
新制大学院を法学、文学、経済学の3研究科で設置
- 1951(昭和26)年
関西大学幼稚園を開園
東西学術研究所を開設
- 1952(昭和27)年
関西大学付属第一高等学校を関西大学第一高等学校に改称
- 1953(昭和28)年
第2部全学舎を天六学舎へ移転
第一高等学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1957(昭和32)年
第一中学校を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1958(昭和33)年
工学部を設置
経済・政治研究所を開設
- 1960(昭和35)年
工学部を天六学舎から千里山学舎へ移転
- 1962(昭和37)年
大学院商学研究科、工学研究科を設置
- 1964(昭和39)年
工業技術研究所を開設(2002年先端科学技術推進機構に改組)
- 1967(昭和42)年
社会学部を設置
- 1971(昭和46)年
大学院社会学研究科を設置
電子計算機室を開設
- 1974(昭和49)年
部落問題研究室を開設(1985年人権問題研究室に改組)

- 1982(昭和57)年
電子計算機室を情報処理センターに改称
(1985年総合図書館・情報処理センターへ移転)
- 1984(昭和59)年
総合図書館・情報処理センターが竣工
- 1986(昭和61)年
創立100周年記念式典を挙げる
- 1987(昭和62)年
法学研究所を開設
- 1989(平成元)年
国際交流センターを開設(2008年国際部に改組)
100周年記念会館が竣工
- 1994(平成6)年
高槻キャンパスを開設し、総合情報学部を設置
第2部全学舎を千里山キャンパスへ移転
関西大学博物館を開館
- 1997(平成9)年
エクステンション・リードセンターを開設
- 1998(平成10)年
大学院総合情報学研究科を設置
- 2000(平成12)年
外国語教育研究機構を設置(2009年外国語学部へ改組)
- 2002(平成14)年
大学院外国語教育学研究科を設置
- 2003(平成15)年
第1部・第2部制を廃止し、昼夜開講制を導入(2006年まで)
- 2004(平成16)年
法科大学院を設置
情報処理センターを円神館へ移転し、ITセンターに改称
- 2006(平成18)年
総合学生会館メディアパーク凜風館が竣工
会計専門職大学院を設置
関西大学アイスアリーナ(現関西大学 たかつき アイスアリーナ)が竣工
創立120周年記念式典を挙げる
- 2007(平成19)年
政策創造学部を設置
工学部をシステム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部に改組
- 2008(平成20)年
関西大学北陽高等学校を開校
大学院心理学研究科を設置
ソシオネットワーク戦略研究機構を開設
- 2009(平成21)年
外国語学部、臨床心理専門職大学院(2020年度から募集停止)を設置
工学研究科を理工学研究科に改称
- 2010(平成22)年
高槻ミュージアムキャンパスを開設し、社会安全学部と大学院社会安全研究科を設置、同キャンパスに関西大学初等部・中等部・高等部を開校
堺キャンパスを開設し、人間健康学部を設置
関西大学北陽中学校を開校
- 2011(平成23)年
大学院東アジア文化研究科とガバナンス研究科を設置
- 2012(平成24)年
南千里国際プラザを開設し、留学生別科を設置
- 2013(平成25)年
第一高等学校・第一中学校創立100周年記念式典を挙げる
- 2014(平成26)年
大学院人間健康研究科を設置
天六キャンパス閉鎖
- 2015(平成27)年
連合教職大学院(大阪教育大学大学院連合教職実践研究科)が設置され、連合参加大学として参画
- 2016(平成28)年
梅田キャンパスを開設
イノベーション創生センターを開設
なにわ大阪研究センターを開設
創立130周年記念式典を挙げる
- 2022(令和4)年
大学昇格100周年記念式典を挙げる

年史資料展示室



千里山キャンパスの年史資料展示室では、1886(明治19)年の関西法律学校の設立から、130年を越える関西大学のあゆみを、写真パネルやビデオによって、分かりやすく展示しています。また、2023年度企画展は「山岡順太郎と千里山住宅地」をテーマに開催します。

設置学校

関西大学 **変革の時代に求められる大学を、学部・大学院での教育を通して具現化。有用な人材と人類文化の担い手を養成します。**

高度化・複雑化が増すばかりの現代にあって、社会環境の変化に即応し、総合的にものごとを検証できる広い視野と判断できる健全な価値観の育成が本学教育の目的です。「学理と実際の調和」を教育理念に、各学部では本質の理解と十分な基礎力の蓄積、問題解決につながる応用力と柔軟な思考力の醸成を推進。情報化・国際化に対応する新しいリテラシーの獲得、実験・実習やディベートなどの

実践的なカリキュラムによって、真に有用な人材の育成に力を注いでいます。

本学は現在、13の学部と13の大学院研究科、2つの専門職大学院、1つの別科を擁する総合大学であり、世界各地からの留学生を含め、約3万人が在籍しています。2022年に創立136年、大学昇格100年を迎えました。本学は、さらなる発展に向け、常に躍動する、活気のある大学として邁進しています。

	入学定員	所在地
学部		
法学部	法学政治学科 715	千里山キャンパス
文学部	総合人文学科 770	
経済学部	経済学科 726	
商学部	商学科 726	
社会学部	社会学科 792	
政策創造学部	政策学科 250	
	国際アジア学科 100	
外国語学部	外国語学科 165	
人間健康学部	人間健康学科 330	
総合情報学部	総合情報学科 500	
社会安全学部	安全マネジメント学科 275	
システム理工学部	数学科／物理・応用物理学科／機械工学科／電気電子情報工学科 501	
環境都市工学部	建築学科／都市システム工学科／エネルギー環境・化学工学科 325	
化学生命工学部	化学・物質工学科／生命・生物工学科 347	
大学院		
法学研究科	博士課程前期課程 法学・政治学専攻 30 博士課程後期課程 法学・政治学専攻 8	千里山キャンパス
文学研究科	博士課程前期課程 総合人文学専攻 92 博士課程後期課程 総合人文学専攻 19	
経済学研究科	博士課程前期課程 経済学専攻 35 博士課程後期課程 経済学専攻 5	
商学研究科	博士課程前期課程 商学専攻 35 博士課程後期課程 商学専攻 5	
社会学研究科	博士課程前期課程 社会学専攻／社会システムデザイン専攻／マス・コミュニケーション学専攻 30 博士課程後期課程 社会学専攻／社会システムデザイン専攻／マス・コミュニケーション学専攻 9	
総合情報学研究科	博士課程前期課程 社会情報学専攻／知識情報学専攻 50 博士課程後期課程 総合情報学専攻 8	
理工学研究科	博士課程前期課程 システム理工学専攻 336 環境都市工学専攻 化学生命工学専攻 博士課程後期課程 総合理工学専攻 47	
外国語教育学研究科	博士課程前期課程 外国語教育学専攻 25 博士課程後期課程 外国語教育学専攻 8	
心理学研究科	博士課程前期課程 心理学専攻／心理臨床学専攻 27 博士課程後期課程 心理学専攻 6	
社会安全研究科	博士課程前期課程 防災・減災専攻 15 博士課程後期課程 防災・減災専攻 5	
東アジア文化研究科	博士課程前期課程 文化交渉学専攻 18 博士課程後期課程 文化交渉学専攻 12	
ガバナンス研究科	博士課程前期課程 ガバナンス専攻 12 博士課程後期課程 ガバナンス専攻 3	
人間健康研究科	博士課程前期課程 人間健康専攻 10 博士課程後期課程 人間健康専攻 4	
法務研究科 (法科大学院)	専門職学位課程 法曹養成専攻 40	
会計研究科 (会計専門職大学院)	専門職学位課程 会計士養成専攻 40	
別科	留学生別科 日本語・日本文化教育プログラム進学コース 130	南千里国際プラザ

関西大学第一中学校・第一高等学校

「正義を重んじ誠実をつらぬく」を教育方針にかけ、目まぐるしく変化する社会に対応できる有為な人材を育成します。

広大で緑豊かな関西大学千里山キャンパスに隣接する関西大学第一中学校・関西大学第一高等学校は、創立100年以上を誇る歴史ある学校です。関西大学までの一貫教育を基軸に据え、大学併設校ならではのゆとりある時間を最大限活用し、教育活動を展開しています。すべての物事に全力で取り組み、その時に得られた達成感を経験値とし、豊かな人間性を育みます。その中で生徒一人ひとりの多様な個性を尊重し希望する進路実現に向け、将来は自立して市民社会に貢献できる「考動」する人材の育成をめざしています。



〒564-0073 大阪府吹田市山手町3-3-24

関西大学北陽中学校・北陽高等学校

「知育・徳育・体育の調和のとれた人間形成」を建学の精神とし、生徒の個性や能力を最大限に伸ばします。

2008年4月に生まれ変わった関西大学北陽高等学校に加え、2010年4月には関西大学北陽中学校を開校しました。阪急では「上新庄」駅、JRでは「JR淡路」駅を最寄り駅とした、アクセスに恵まれたロケーションを最大限に活かしながら、関西大学北陽中学校・北陽高等学校では、生徒一人ひとりの個性や能力を最大限に伸ばすことを大切にしています。その上で、真に社会の中核として活躍する人間を育成するため、知性と教養、他者とともに生きる力を身につけた、人間性豊かな個の育成を中高一貫教育のもとで行っています。



〒533-0006 大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26

関西大学初等部・中等部・高等部

初等部から高等部までの一貫教育の中で、「確かな学力」「国際理解力」「情感豊かな心」「健やかな体」の4つの力を育み、「高い人間力」を持つ人材を育成します。

関西大学初等部・中等部・高等部では「思考力」を育て「探究する力」を養い、単なる詰め込み型ではない確かな学力を身につけます。また、自ら主体的に社会課題に取り組み、解決へと導く力をつけ、実際に社会で応用できるよう12年間で育成します。

初等部は2016～2024年度、Apple認定校となっており、高等部は2014年度から5年間、文部科学省より「スーパーグローバルハイスクール (SGH)」の指定を受け、2021年度から3年間「SGHネットワーク参加校」として認定を受けています。質の高い環境で、グローバルな課題に対応できる力を身につけ、広く世界で活躍できる人材を育成します。



〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1

関西大学幼稚園

人としての礎を築く大切な幼児期。自然環境・人的環境・物的環境の充実を重視し、生きる力を育成します。

関西大学幼稚園では、幼児教育の重要性を真摯にとらえ、物心両面の環境設定を重視しています。広々とした園庭をはじめ恵まれた自然環境の中、季節の行事や園生活での豊かな体験を通して、心身ともにバランスのとれた発達と、近年弱まるコミュニケーション能力の獲得を導き、自主性・協同性・生きる力を育みます。時代の流れに翻弄されず、「目の前の子どもにとって何が一番大切なのか」を保護者ととも考え合う姿勢は、本園の特色として根つき、高い評価を得ています。



〒564-0073 大阪府吹田市山手町3-5-34

学部

法学部

グローバルな視野、法的思考力を養い、多様な分野で活躍する人材を育成します。

文学部

人間存在と文化の全体像をより広くより深く探究する多彩なディシプリン。

経済学部

経済活動を切り口に、国際社会・地域社会のさまざまな問題を分析し、経済学が果たす役割を考察。

商学部

日本をはじめ世界で活躍する「品格ある柔軟なビジネスリーダー」をめざします。

社会学部

人間と社会、その変化を学際的に研究し、感性と行動力を兼ね備えた人材を育成します。

政策創造学部

実践的な政策立案力を養うゼミを中心とした少人数教育と多彩な学問領域。

外国語学部

高度な「外国語運用能力」、豊かな「教養」そして「生きる力」を持った「外国語のプロフェッショナル」を育成します。

法学部では複雑化する現代社会において、法的・政治的諸問題に柔軟な対応ができる人材育成を目標にしています。1年次は、共通専門基礎教育として導入演習で法学・政治学の基本的学習技術・方法を修得し、5つの基幹科目の講義を通して知識基盤を確立します。2年次以降は、それぞれの学問的関心や進路

文学部は、哲学、歴史、文学という伝統的な領域区分のほかに映像文化、文化共生、アジア文化などの新たな分野も含めた16のディシプリン(専修)を擁し、多彩な切り口から人間存在と文化の全体像を広く探求します。まず、高校と大学をつなぐ1年次には導入科目によって文学部での学びの広がりへの理解を深めます。

経済学部では、専門科目を導入・基本・展開科目と分類し、経済学を無理なく体系的に学べるプログラムを導入しています。具体的には、1年次は比較的身近な教養科目、語学・専門科目をバランスよく履修・習得し、その後専門科目を深く学べるような授業体系となっています。また、3・4年次に履修するゼミナールや卒業論文は、授業で身につけた知

日本で、世界でビジネスをしたい人、リーダーとして活躍したい人のために、ビジネス英語と会計(簿記)を基礎に、教育プログラムを提供しているのが商学部です。流通、ファイナンス、国際ビジネス、マネジメント、会計の5分野からなるビジネスの基礎を1・2年次で学びます。3年次になると、自分の興味に応じて、どれか一つの分野(専修)を選択します。

現代社会をテーマに、学際的な取り組みを行う社会学部。社会の諸相と密着した研究を通して、各自がそれぞれの関心に基づいて研究課題を発見できるカリキュラムを設定しています。フィールドワークや実験・実習など実践的な教育を通して理論を実証する姿勢を重視し、鋭い感性と果敢な行動力を兼ね備えた人材

政策創造学部は新たな時代を見据え、地球規模の思考力、行動力を持ち、豊かな地球市民社会を創造できる人材の育成を目的としています。そのため、カリキュラムは、入学から卒業まで外国語教育を重視するとともに、ゼミを中心とした少人数教育で基本能力の育成と学生が主体的に取り組む実践的な学習を重視

グローバル化が急速に進む今日日本にとっては、諸外国の歴史と現状に関する十分な識見を持ち、世界が抱える諸問題に適切に対応しうる人材の育成が喫緊の課題となっています。外国語学部では、国際交渉能力の基盤となる卓越した外国語運用能力と、海外での1年間の直接経験(Study Abroad)、豊か

目標に沿って講義の履修を行い、同時に少人数の演習科目を通して問題を分析し、自分の考えを発信していく訓練を受けます。法学部卒業生は、法科大学院進学や各種公務員、司法書士などの専門的職業はもちろん、研究やビジネスなど幅広い分野で活躍しています。

2年次からは各専修に所属し、少人数の演習を核とするカリキュラムによって専門研究をより深く掘り下げます。文学部は、人間と文化への幅広い理解と深い洞察力を身につけ、現代社会におけるさまざまな課題を社会と連携して解決できる人材を養成します。

識や技能を生かす実践科目として位置付けています。大学4年間を通じて、教員や他学生との密接な交流を経て、自らの思考力を高めると同時に社会で活躍するために必要な協働する力を養います。海外留学や資格取得などにも挑戦しやすい環境で、学生一人ひとりが希望する多様な学びをサポートする体制が整っています。

少人数のゼミで専門的な研究をすすめ、卒業論文を書き上げます。また「英語に強いビジネスリーダー」を養成する特別プログラム(BLS&P)や海外ビジネス英語プログラム(BestA)、サービス・イノベーション特別プログラム(DSI)、公認会計士試験合格をめざす会計連携特別プログラム(ALSP)も用意しています。

を育成します。確かな視点と広い視野、創造的な発想を獲得する学習・研究内容を反映して、卒業生の進路も多彩に広がっています。「伝統と革新の調和」「専門性と学際性の調和」を教育理念とし、「理論研究と実証分析の調和」を教育目標としています。

しています。また、多様な学問領域を横断的に学べるシステムを構築しています。卒業時には現代社会における多様な問題を総合的に判断し、課題を発見する力、解決の方法を見出す力、それを実行・実現する力を身につけ、国際社会のみならず、地域社会、各種組織、あるいは企業において活躍できる人材を育成します。

な教養を身につけ、「生きる力」を持った国際社会のフロントランナーになり得る人材を、少人数教育で育成していきます。学術、教育、通訳、ビジネス、政府、NPOなどの幅広い領域で、卒業生の国際的な活躍が期待されています。

人間健康学部

「はぐくむ」「つながる」「ささえる」をキーワードに、人間の健康を探究します。

総合情報学部

変貌するIT社会の要請に対応できる確かな情報フルエンシー(利活用能力)を備えた人材を育成します。

社会安全学部

「安全・安心」をキーワードに誰もが輝ける社会の創造に挑みます。

システム理工学部

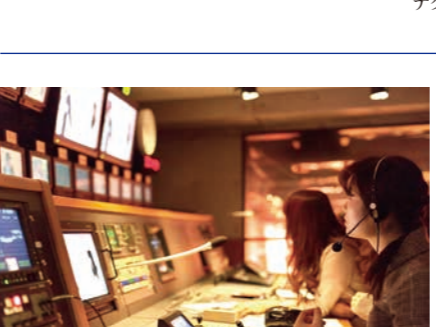
自然科学から高度な最先端技術まで、持続可能な社会を担う「しくみ」を創造します。

環境都市工学部

21世紀の「まちづくり」のために、科学技術の知識と豊かな創造性、高い倫理観を兼ね備えた人材を育成します。

化学生命工学部

分子から新素材、生命まで、未来に必要な「ものづくり」を学び、社会に貢献できる研究に取り組みます。



人間健康学部では、「こころ」「からだ」「くらし」を総合的にとらえ、人間の幸福を実現するための健康に関わる諸問題の解決方法を探究します。「スポーツと健康コース」は生涯スポーツ活動やスポーツ教育を通して、地域コミュニティに貢献できるスポーツ指導者などの養成をめざし、「福祉と健康コース」は社会福祉

メディア学部

総合情報学部では、文系・理系という枠にとらわれることなく“情報”をキーワードに「人間」「社会」についてのあらゆる問題を探究します。実習型・演習型の充実した初年次教育により情報学への興味をスムーズに高め、多面的な分野におよぶ多彩なカリキュラムと段階的に発展していく豊富な実習科目を通じて、情報・

社会安全学部は、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、社会学、工学、情報学、理学、社会医学などを幅広く学び、安全・安心な社会の構築に寄与する人材を育成します。カリキュラムは「事故」と「自然災害」の2つの問題群を中心に、体系的に編成されています。学生は、入学時から少人数のゼミナールに所属し、最新

本学で唯一、自然科学(理学)を扱う学科を有する「理工」学部です。科学技術の基盤をなす数学、物理・応用物理学から、基幹産業の中核を担う機械工学、電気・電子工学、情報・通信工学などの工学技術までについて、トータルな研究開発・人材育成体制を整えています。地球環境という貴重な資源を浪費せず、

私たちが心豊かに安心して暮らすためには、安全で機能的な都市空間を持続的に発展させる必要があります。人、もの、情報が高密度に集積することで新しい価値を生み出し続ける都市は、自然環境と共存できる洗練された人間環境でなければなりません。そこで、地球環境と調和のとれた産業・社会システムを

私たちのまわりには、さまざまな素材によってつくられた「もの」があふれています。私たち生命体も物質の集合体です。また、「ものづくり」と「先端技術」の発展には、化学、生命、マテリアルの知識と技術は不可欠です。化学生命工学部では、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、エネルギー、環境、食糧、医療をはじめと

を生活環境と健康の関係でとらえ、地域コミュニティにおける福祉文化の構築について探究します。また「人間健康学プログラム群」を設置しており、新たな学問分野へ関心を広げることも可能です。こうした実際の社会を意識した教育展開により、社会の幅広い分野において活躍できる人材を養成します。

メディア・コンピュータに関する理論的知識と実践的な情報フルエンシー(利活用能力)を身につけます。最新の情報システム環境を用いた実践的教育を重視し、最先端の技術を追いながらも目先の変化にとらわれず、幅広い視点から情報の本質を見通す力を養います。

事例を学びつつ、実習や調査、シミュレーションなど実践重視の教育を受けます。自身の関心や将来の進路に合わせて、安全・安心に関するさまざまな政策立案力と実践能力を身につけることができ、卒業後には多方面での活躍が期待されます。

持続可能な社会を作るためのさまざまな「しくみづくり」が、本学部の基幹コンセプトです。自動車や航空機、さらにはインターネットやスマートフォンが世界を小さくしたように、「しくみ」は単に機器の構造ではなく社会を変革する道具であるとの考えのもと、最先端技術の創成とそれに携わる人材を育成します。

備えた21世紀の「まちづくり」を進めることが必要となります。環境都市工学部では、環境、都市デザイン、建築、社会基盤、情報、資源、エネルギー、環境化学プロセスをキーワードとして、新しい総合的な科学技術を駆使し、より快適な環境都市を創造・再生できる人材を育成します。

する幅広い分野に対応する技術者の養成をめざし、「新しい分子やマテリアルの設計・発明」「新物質やマテリアルを製造する技術の創造」「DNAやRNA、タンパク質など生体高分子の機能解明とその活用」「生物に含有される機能性化合物の探索」を行っています。

大学院・留学生別科

法学研究科

長い伝統と新たな挑戦。

法曹界、政界、官界、経済界、学界に多様な人材を輩出しています。

文学研究科

きめ細かな専修制と共通科目履修で専門性と総合性の双方を実現します。

経済学研究科

経済学の専門的研究を通じて、国際的な視野を持ちながら地域に立脚した人材の育成をめざします。

商学研究科

理論と実践の融合。

複雑化する現代ビジネス社会を切り拓く高度専門職業人・研究者を育成します。

社会学研究科

現実社会の諸現象を実証的に研究。高度な創造力を持ち幅広く活躍する専門家を養成します。

総合情報学研究科

情報社会において指導的役割を担う人材を養成する画期的な研究科です。

理工学研究科

「しくみ」「まち」「もの」づくりの各分野において活躍できる最新の知識を備えた技術者と研究者を養成します。

外国語教育学研究科

国内外から高い評価を受ける研究科。理論と実践を融合し、外国語教育学の確立をめざします。

心理学研究科

「こころ」についての総合的研究拠点の形成をめざします。

前期課程には、法学・政治学専攻のもとに、法政研究コース、高度専門職業人養成コースおよび国際協働コースが設置されています。法政研究コースでは研究者としての基礎的トレーニングを受けつつ、後期課程への進学を射程に入れた学術研究を行います。高度専門職業人養成コースでは、高度な専門的知識を

総合人文学専攻のもとに、前期課程には13専修を、後期課程には8専修を設け、さらに副専攻としてEUー日本学教育研究プログラムを開設しています。学生一人ひとりが専門分野の権威ある教員から入念な指導を受けられる充実した体制は、本研究科の最も大きな特徴の一つです。こうした専門領域に加え、共通科目

経済学の分析対象は広く、社会経済的事象一般を網羅します。経済学研究科では、エコノミスト系科目、パブリックポリシー系科目、地域・国際系科目、歴史・社会系科目、産業・ファイナンス系科目の5つの系科目群を用意し、学生の問題意識と目的に応える系統だった履修メニューを準備しています。前期課程では、研究者養成コースと高度専門職業

前期課程には、高度専門職養成コースと研究者養成・後期課程進学コースを設置しています。高度専門職養成コースでは、データ分析のスペシャリストを養成するDSプログラム、税理士や企業の税務・財務部門で活躍するスペシャリストを養成するTASプログラム、グローバル化の進展と電子商取引（Eコマース）の発展に対応する高度な専

集団、組織、メディアなどが複雑に絡む現代社会とそこに生きる人間の問題を総合的に理解するためには、各専門領域における理論と方法論の学修に基づく実証的・論理的な考究が不可欠です。カリキュラムは、専門領域の基礎と最新動向の理解（講義科目）、調査・実験法や情報処理技術の習得（実習科目）、

前期課程には、情報メディア・システムと社会、経済・経営、法・政治・行政、人間行動の変化との関係を学際的に研究する社会情報学専攻と、知識情報の先端的理論と技術を学び、新しい情報環境と社会システムの構築に寄与する知識情報学専攻を設置しています。研究者のみならず高度な専門知識を有する

理工学研究科は、理工系3学部9学科それぞれに直結した9分野によって構成されています。各分野とも少人数の講義やゼミナルなどによって、学部で学んだ内容をさらにグレードアップすることをめざしています。指導教員のもとで実験・研究を行い、学会発表や学位論文作成によって、実社会に貢献できる研究・開発能力を涵養しています。また、他大学や企業との

外国語教育のプロフェッショナルを養成する国内・外屈指の研究科です。多彩なカリキュラムと第一線で活躍する充実した教授陣を擁することでも知られています。前期課程では、理論から実践までをバランスよく学びます。また、現職1年制修士、長期在学制度、昼夜開講制などを取り入れており、社会人の学びにも

心理学研究科は、1967年以来関西大学において培われてきた心理学の教育研究を基盤として2008年4月に開設。2016年4月に再編し、認知・生理心理学、社会・産業心理学、発達・教育心理学、健康・人格心理学、計量・方法心理学の5領域から学際的に研究を行います。本研究科では、人間行動に関して科学的・

修得し、社会に出て指導的な職務に携わることをめざします。国際協働コースは、特別プログラムにより入学した留学生に対して英語で指導を行うコースです。多彩で充実した教授陣を擁し、社会が求める新たな分野での研究はもとより、関連領域を含めた総合的な履修が可能です。

を受講することによって自らの学問を総合化できることも、多彩な学問領域を含む本研究科の特徴といえます。学生同士の研究会活動やフィールドワーク、実習なども積極的に行われ、修了者は大学・高校の教員や公務員、各種専門職に就くとともに、高度な専門的職業人としてさまざまな企業にも進出しています。

人養成コースを設けて、各々の入学者のニーズに応じています。研究者養成コースでは、修了後、研究のプロフェッショナルとして独立するための研究能力を養成し、高度専門職業人養成コースでは、税理士等資格試験の受験や、企業や政府機関、NGO等における研究、分析、プランニングおよび経営などといった業務に必要とされる能力を養います。

門知識と柔軟な思考力を兼ね備えたビジネスパーソンを養成するGRプログラムを提供しています。研究者養成・後期課程進学コースは幅広い専門科目の講義と論文指導を中心に研究者の養成を図っています。本研究科は、変化する現代社会のもとでの企業行動を解明し、専門的な施策の提言ができる高度専門職業人や研究者を育成します。

各自のテーマの独創的研究（演習科目）の3つの柱からなっています。研究成果は学位論文のほか、機関誌『人間科学』や各学会等で積極的に発表され、修了生は大学や研究所をはじめ、学校教員や公務員、民間企業など幅広い分野に進出しています。また社会学専攻では専門社会調査士資格が取得できます。

人材を養成し、社会人にも広く門戸を開いています。カリキュラムは、複数の教員で構成するプロジェクト型の演習科目を中心に編成されています。後期課程では、文理総合の総合情報学専攻の1専攻を設置し、未踏の領域に挑戦する人材を養成します。

連携、海外実習などを通して、広い視野を持った技術者・研究者の養成にも努めるとともに、すべての分野で英語基準コースを設置するなど、国際化に対応した体制のもとでの教育・研究を進めています。なお、海外大学と関西大学の両方の学位を取得できるダブルディグリープログラムも用意しています。

やさしい研究科といえるでしょう。後期課程では、研究者養成に向けて実証的な研究手法を研鑽しており、学生の執筆した論文が有名国際研究誌に多数掲載されるなど大きな成果を上げています。両課程とも社会人や留学生の比率が高いことも特徴の一つです。

研究的な視点を持ちつつ、実際的な問題解決を主導できる人材の育成に向けて、領域の枠を越えた研究教育を行っています。さらに2020年4月には、前期課程に心理臨床学専攻を開設し、「コンピテンシー指向型」教育に基づく、公認心理師等の心理職養成の先進的な教育を展開しています。

社会安全研究科

安全・安心な社会の実現をリードするエキスパートを育成します。

東アジア文化研究科

東アジア文化を動態的・複合的にとらえ、発進力を持つ国際的人材を育成します。

ガバナンス研究科

よりよき社会の実現に貢献できる「高度公共人材」を育成します。

人間健康研究科

健康・スポーツ研究を通じて、人間社会の健康と地域福祉に寄与します。

法科大学院

豊かな人間性とバランス感覚を持った、創造性あふれる法曹を養成します。

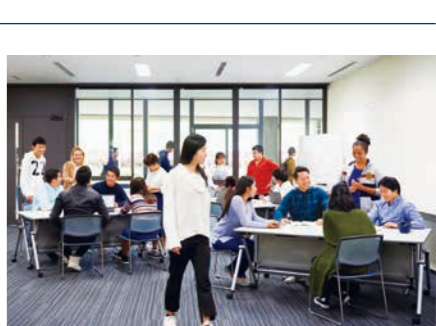
会計専門職大学院

監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人を養成します。

留学生別科

(日本語・日本文化教育プログラム進学コース)

日本語能力に加え、大学・大学院での学術活動の基礎となる能力の養成も積極的に支援します。



国民生活を脅かす自然災害や社会災害に対処して安全・安心な社会を実現するためには、人文科学、社会科学、自然科学を総合した学際融合研究を通して、社会安全研究領域を創設するとともに、防災・減災の実現のための理論創造と政策提言に寄与できる人材を養成することが極めて重要です。社会安全

研究科では、この大きな社会の要請に応えるため、我が国の先端的研究をリードする専任教員が中心となって、「安全の学知」の集積・体系化に取り組みつつ、防災・減災対策や事故防止、危機管理について、複眼的・総合的な分析と理論・政策創造が可能となる能力を養成する教育を行います。

立って、東アジアにおける文化交渉の諸相を人文学諸分野から動態的・複合的に分析します。さらに、グローバルCOEプログラムで培われた実績を踏まえ、新しい東アジア文化像を共有し、国際的発信力を持った人材の育成をめざします。

は、学際的な立場から政策について研究することを通じて、ローカルあるいはグローバルなレベルにおいて、政策の立案・実行を行うことができる人材を育成します。それによって、よりよき社会の実現をめざすことが本研究科の目的です。

と、健康 (health) や健幸 (well-being) との関係について研究していきます。また、高度専門職としての健康運動指導者や体育・スポーツの指導者、地域福祉の実践者、あるいは学際的かつ実践的視野を持った研究者の育成を通じて、現代社会が直面する課題に正面から取り組み、解決へと導くことをめざします。

高度専門教育機関です。法曹になってから何をすべきかを見据えて、必要な素養を磨く「プロセス」を重視し、法的紛争においてそれぞれの立場でものを考えられる人材、何のために、誰のために尽力するかを考えて行動できる法曹を養成します。

目的とします。さらに、企業や官公庁からの要請にも対応し、それらの分野で活躍できる会計人の養成をも目的として、「監査界・産業界・官公庁のリーダーたりうる会計専門職業人」の養成をめざしています。

設計、学生の言語運用能力や大学・大学院での学術活動の基礎となる能力を養成するとともに、授業内外の学習にICTやeラーニングを活用し、各学生の総合的なコンピュータ・リテラシーや情報リテラシー（ICTを応用した情報収集や分析能力）も同時に養成しています。

SDGsの推進

自由で平和な世界を実現できる「考動力」と「革新力」を兼ね備えた人材を育成し、SDGsに資する研究や社会連携を展開。

2018年12月、学長の下に「KANDAI for SDGs推進プロジェクト」を設置し、SDGsがめざす「地球上の誰一人置き去りにしない (leave no one behind)」という世界規模の理念・目標の実現に取り組んでいます。

教育においては2020年度から全学部生が受講できる共通教養科目として、「SDGs入門」「SDGsの実践」を開講しました。

SDGsのキーワードは、人間、地球、豊かさ、平和、パートナーシップという5つのP (People, Planet, Prosperity, Peace, Partnership) です。関西大学は、自分ひとりのためだけでなく人類全体に思いをはせ、母なる地球を意識しながら、豊かさを追求できる「考動力」溢れる学生を育成します。一人ひとりが自由であり、世界のあらゆる人々、組織、国とつながって、社会をよりよくしていくことのできる「革新力」と、国際社会の協働的パートナーシップにより、平和を希求していく強い意志をもつ人材を社会に送り出します。

昨今はカーボン・ニュートラルに対する取り組みも注目されており、本学も文部科学省、経済産業省、環境省が設立した「カーボン・ニュートラル達

成に貢献する大学等コアリション」に参画。環境保全委員会の下に設置したカーボン・ニュートラル検討ワーキンググループと連携し、西日本の大学としては初めて「気候非常事態宣言」を発出しました。また2022年10月には、カーボンニュートラル研究センターを設置し、SDGsの達成および脱炭素社会の実現に向け、さらなる取り組みを進めています。



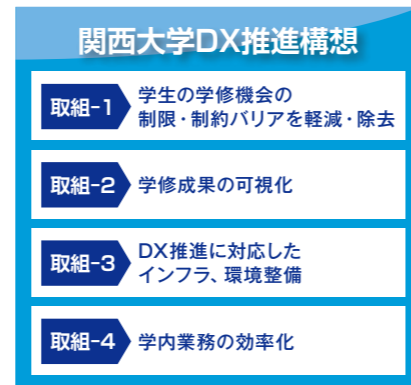
DXの推進

次世代社会に適合したスマートキャンパスの創出を推進、DXによる大学教育の高度化をめざします。

2021年1月、文部科学省の大学改革推進等補助金（デジタル活用教育高度化事業）「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」において、「学修者本位の教育の実現」「学びの質の向上」の2つのタイプの取組に申請し、①関大LMSで繋がる「今の学び」と「未来の自分」ー学習環境の再構築とキャリア支援ー、②越える・広がる・交り合うー関西大学グローバルスマートキャンパス構想ーの2件が採択されました。

これまで、学生の主体的な学びを促進するため、BYODを前提としたICT活用教育など、「デジタル技術を駆使した教育」環境の整備を進めてきました。予測不能な未来を切り開き、社会課題の解決を実現するためには、日常のあらゆる場面においてデジタル技術が浸透し、さまざまなサービスやデータが活用されることが急務であり、本学では、既存の仕組みの転換や社会の変革に向け、DX（デジタルトランスフォーメーション）が推進力となると考えています。

2021年1月に策定した「関西大学DX推進構想」をもとに、全学的な体制を構築。デジタル技術を活用した新たな手法やコンテンツの創出とそれを実現する環境開発により、真のスマートキャンパス化を進め、従前の課題の解決と次世代社会に適合した大学キャンパスを創出します。



数理・データサイエンス・AI教育プログラム

AIやデータサイエンスの活用理解を深化し、デジタル社会における人材育成の基盤を構築する、全学的データサイエンス教育プログラム。

政府が主導する「AI戦略」では、未来への基盤作りとして、高等教育へのAI教育の導入・推進が目標に掲げられています。関西大学においても、人工知能（AI）やデータサイエンス（DS）の技術は大学生の誰もが有する基礎的なスキルと捉え、全学生を対象にしたリテラシー教育として、リテラシーレベルおよび応用基礎レベルの2つのプログラムを設置し、体系的な教育を行っています。プログラム修了者にはデジタル証明書（オープンバッジ）を発行し、どのような能力を修得したかという学習歴を証明することができるようになっています。

なお、本プログラムは、2022年度に文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」に認定されました。2023年度には、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎レベル）」へ申請を予定しています。



教育推進部

教育推進部は、本学のディプロマ・ポリシーを具現化し、より豊かな学びの環境を学生に提供することを目的に、教育の質保証・向上を図る組織です。共通教養教育の推進、実質化したFD/SD、教育開発・改善、学習支援、学生の教員免許取得に関する修学支援等を行っています。

共通教養教育推進委員会

関西大学の学生として総合的な知性を備え、自立した個性を育むため、「共通教養科目」および「外国語科目」の運営を行っています。「共通教養科目」では、幅広い教養を習得することを目的に、学部の枠組みを超えた7つの科目群を用意しています。8言語で展開する「外国語科目」では、グローバルな考え方を身に付け、実践的な外国語運用能力を醸成することを目的としています。

教職支援センター

教員養成段階から卒業後の教職生活までを一つの過程としてとらえ、教員として必要な資質能力の開発や実践的指導力の養成、教員採用試験対策等の就業支援も行う教員養成の拠点として活動しています。学校現場や教育行政に精通した3人を特別任用教授として招へいし、実効ある支援策を推進しています。また、司書、司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事の資格取得教育課程も設けています。

教学IRプロジェクト

教育・学習環境の改革・改善を視野に、さまざまなデータの収集・分析に取り組む教職協働・学部横断型プロジェクト。

IR (Institutional Research)とは本来、教育、研究、経営を含む大学内部のさまざまなデータの入手・分析・管理、戦略計画の策定、大学の教育プログラムのレビューと点検などを包括した考え方のことを意味します。

教育開発支援センター

教育の質保証・向上に向けた全学的な教育支援体制に係る諸施策の企画・開発および推進を図るとともに、学生の学びをより豊かにするために、FD (Faculty Development) /SD (Staff Development) 活動や、学習支援に取り組んでいます。本センターでは4人の専任教員を中心に、ライティングラボによる学習支援や学生スタッフ育成など、現在4つのプロジェクトを展開しています。

社会人学び直し大学院プロジェクト

社会人向けの履修証明プログラム「海外子会社の経営を担う人材を養成する大学院教育プログラム」を運営しています。本プログラムでは、企業出身教員による実践的な講義と、大学教員による社会を俯瞰的に見るための専門講義を組み合わせ、海外展開を牽引する企業人を育成します。

本学教学IRの特長

- 1 全学（マクロ）のみならず、学士課程、教育プログラム単位（ミドル）のニーズに応える
- 2 直接評価（成績や履修状況などの客観的なデータ）と間接評価（アンケート等、学生が自己評価するデータ）の多様なデータを活用し、本学が掲げる「考動力」を評価する
- 3 「教える」のみならず、直接学生の「学ぶ」を支援する能動的な活動を行う
- 4 教職協働、部局横断のプロジェクト型で活動する

ここでいうデータとは、学生の学修活動、大学の教育活動、入試、就職等に係るものを指します。これらのデータを組織的に収集・分析、可視化（見える化）、確かな根拠に基づく計画立案や意思決定に活用することに力を置いています。その活動の一環として特徴的なものは、入学時、在学中、卒業時、卒業後

に実施するアンケート調査です。学修行動や学習理解の到達度などの実態を正確に把握することで、学生の「学習したつもり」や、教員の「教育したつもり」の改善に結びつけていきます。

ラーニング・コモンズ

学生たちが「知」を共有できる創造的学習空間。

正課学習・課外活動を問わずアクティブな学習ができる空間として、総合図書館「ラーニング・コモンズ」、総合学生会館メディアパーク凜風館「コラボレーションコモンズ」を開設しています。

「ラーニング・コモンズ」は、ノートPCやプロジェクター、電子黒板などを活用して、グループ学習やディスカッションに利用することができます。また、レポートや卒業論文などの文章作成の相談・支援も行っています。

「コラボレーションコモンズ」は、主体的な学びに取り組む学生が予約なしで自由に使用できる場として開放されています。ノートPCやプロジェクター、ホワイトボードなどを活用して、グループ学習に利用することができます。また、学生生活で役立つ図書や、学生のリクエストに応じた図書も配架しています。



BYOD

ICTを活用して自律的に学ぶ力を育成。

関西大学では、ICTを活用して自律的に学ぶ力を育成するため、ノートパソコンなど自身のデバイスを持参して学ぶBYOD (Bring Your Own Device)を推奨しています。授業のレポートやプレゼンテーション資料の作成、学習支援システム「関大LMS」を活用した予習・復習、e-Learningを用いた自学自習等、日常的な学習活動においてパソコン等を活用しています。キャンパス内での学びだけではなく、遠隔授業を受講する場合や、就職活動においてもパソコンは必要となります。

在学中は、全キャンパスで学内無線LAN「KU Wi-Fi」をはじめ、Microsoft365等のアプリケーションソフトウェアなど各種サービスを無償で利用することができます。いつでも、どこでも、学び続けられる環境を整備し、キャンパス内外における学生の主体的な学びを促進しています。



ライティングラボ

学生の記事・プレゼンテーション資料作成をサポートします。

教育推進部では、学生への学修サポートの一環としてアカデミックライティングの指導に取り組んでいます。

「書く力」は、大学での学びに必要な大切な力であるだけでなく、社会で活躍していくために重要な力です。「書く力」の育成は、学部での専門教育の中で行われていますが、その教育を背後でサポートし、学生一人ひとりに寄り添いながら疑問や悩みをこたえる支援組織としてライティングラボを設置しています。

現在、すべてのキャンパスにライティングラボがあり、訓練を受けたチューターによる対面での個別アドバイスのほか、Zoomによるオンラインアドバイスも実施しています。さらに、授業外セミナー「アカデミックスキル ワンポイント講座」の実施、授業への出張講義、「レポートの書き方ガイド」や「プレゼンの作り方ガイド」の発行など、ライティング支援に関わるさまざまな取り組みを展開しています。



セミナーハウス 豊かな人間形成と教育・研究の一層の充実をめざした多彩な施設。

教育・研究活動の充実に資するため、全国に5カ所のセミナーハウスを設けています。教職員、学生の研究・研修のほか、ゼミ旅行・合宿などの正課活動で利用することができます。施設はいずれも自然にあふれた静かな環境にあり、キャンパス内の教室や研究室と違った雰囲気の中で、教育・研究のより一層の効果が期待できます。また、教員・友人と寝食をともにすることによって豊かな人間関係を育む場ともなります。施設により、クラブ・サークルの合宿などの課外活動のほか、校友や学生の父母・保護者も利用することができます。



高岳館 (大阪府高槻市)



白馬柵池高原ロッジ (長野県北安曇郡)



飛鳥文化研究所・植田記念館 (奈良県高市郡)



六甲山荘 (兵庫県神戸市)



彦根荘 (滋賀県彦根市)

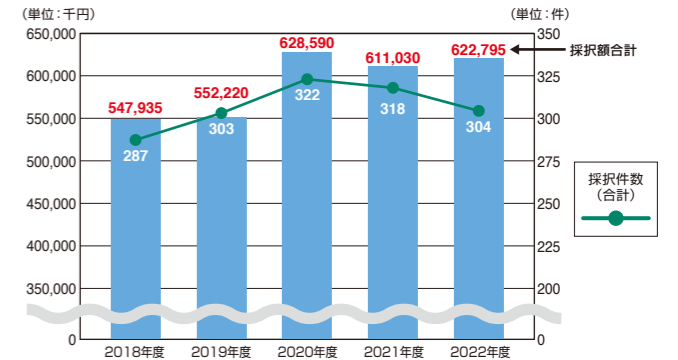
研究推進部

本学における研究の充実向上を図るための研究推進戦略や諸施策を全学的な視野から協議し、迅速な意思決定を行っています。

外部の競争的資金の導入促進、研究支援体制の整備、研究倫理や研究成果のあり方、研究費の適正使用などの事項を全学的かつ総合的に推進しています。外部資金の獲得状況では、我が国の最も基幹的な研究経費とされる科研費の採択状況において、2022年度は、医科・歯科を除く私立大学では6位、すべての私立大学では15位と毎年高い実績を誇っています。また、2016、2017年度には文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」に2年連続で採択(全国で7大学のみ)を受けていることに加え、科研費をはじめ、各省庁・各種助成団体等が募集する研究プロジェクト等の実施件数は2021年度で計392件、10億円以上に及び、卓越した先端研究プロジェクトの推進と社会への研究成果の発信を一体的に展開しています。

さらに、2012年度からURA体制(高度な専門能力を有するスタッフによる研究マネジメント体制)を導入しており、異分野を融合した研究プロジェクトの創出支援など、新たな価値創造に向けた活動を推進しています。

■科研費の採択状況の推移



(注)採択金額は間接経費を含みます。

KU-SMART PROJECT (研究ブランディング事業)

「人に届く」関大メディカルポリマー (KUMP) による未来医療の創出



「KU-SMART PROJECT」は、2016年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業(タイプB)に選定された研究プロジェクトです。本学発の革新的な医用高分子材料「関大メディカルポリマー (KUMP)」を軸に、3つのM (Materials, Mechanics, Medicine) で、人に届く医療器材および治療・診断システムの開発を通じた社会貢献をめざしています。「KUMP」が持つ、「温度などを感知・認識して形を変える」「溶液からゲルに変化する」「体内において狙った速度で分解吸収される」といった性質によって、治療と診断における患者の肉体的・精神的・経済的負担を軽減させることを可能にします。

同プロジェクトは、2021年4月に新たな研究拠点として先端科学技術推進機構内に、関大メディカルポリマー研究センターを設置し、医薬学系大学や医療機関と連携しながら積み上げた研究実績をベースに活動しています。その主たる目的は、大阪医科薬科大学との医工連携体制の中で、現場の臨床医からのニーズに基づき、医療用の材料・システムを開発、さらには国際競争力のある医療機器として製品化し、臨床現場(人=患者と医師)に届けること。現在は「内視鏡下で使える癒着防止材・止血剤」や「軟骨・半月板を再生する足場となるポリマーゲル」等を開発しています。

東西学術研究所

東西の多様な文化をグローバルな視点から多角的に研究。

1951年、東西両洋文化の比較研究に重点をおきながら、広く世界の文化研究を企図して開設しました。「アジアにおける文化交流の研究」と「東西文化交流の研究」の2つを基本テーマに、グローバルCOEの後継組織としても役割を果たし、文化交流学の創生を国際的なネットワークを通じて研究し、全部で7研究班が共同研究活動を行っています。その成果は「研究所紀要」「研究所々報」「研究叢刊」「資料集刊」「訳注シリーズ」「国際共同研究シリーズ」

文化交渉学研究拠点

グローバルCOEプログラムで培った実績を基盤に、文化交渉学における世界最高レベルの研究拠点として充実・発展させていきます。

2007年度にグローバルCOEとして採択された「東アジア文化交渉学の教育研究拠点形成」プログラムにより「文化交渉学教育研究拠点」を設置し、5年間にわたり文化交渉学の世界的教育研究拠点を形成するため、教育・研究プログラムを推進してきました。「アジア文化交渉学会」は、20数カ国・地域に跨った約550人の会員を擁する世界的な学会に成長しました。また、2011年に開設した東アジア文化研究科文化交渉学専攻では、すでに多くの博士を輩

KU-ORCAS (研究ブランディング事業)

世界最高水準の東アジア文化研究拠点。オープン・プラットフォームが切り拓く新たな人文知の未来



関西大学アジア・オープン・リサーチセンター(KU-ORCAS: Kansai University Open Research Center for Asian Studies)は、東アジア文化研究における世界最高水準の研究拠点を形成すべく、2017年4月に発足。2017年度文部科学省私立大学研究ブランディング事業(タイプB)に選定されました。本学は、江戸時代後期に開かれた漢学塾「泊園書院」をその源とする東西学術研究所を中心に、近年のグローバルCOEプログラムや、文化交渉学の提唱等におけるめざましい研究業績により、「東アジア文化研究の関大」として世界的に認知されてきました。KU-ORCASでは、長き伝統の中で培われてきた同研究所の学術リソースと国際的学術ネットワークを基盤に、デジタル知識基盤社会に適合した「デジタルアーカイブ」を構築します。また、同時に、「①デジタル・ヒューマニティーズによる東アジア文化研究を推し進める」「②大学院生や若手研究者のデータ・サイエンスへの対応を深める」「③外部のデジタル・ヒューマニティーズ研究の取り込みを行う」「④東アジア研究のハブ拠点となるプラットフォームを構築する」ことに重点を置いて、研究活動を推進していきます。

などの各種出版物として発表しています。また、国内はもとより海外の研究機関との学術協定や研究者との研究交流、国際シンポジウムの開催などを行い、毎年秋には、東西の文化ならびに文化交流に関するテーマを設定し「泊園記念講座」を開催しています。

出しています。さらに、2012年には、東アジア文化研究科から申請した東アジア文化交渉学の教育研究拠点が、文部科学省の「卓越した大学院拠点形成支援補助金」に最高評価の「S」を獲得して採択されました。また、グローバルCOEプログラムによる5年間の研究活動および国際的ネットワークをさらに継続的に発展させるため、2012年度から東西学術研究所の研究班を再編の上、「文化交渉学研究拠点」を設置しました。これにより同拠点を将来にわたって文化交渉学における国際的研究拠点として定着させ、国際的研究ハブとしての本学の地位確立に貢献します。

経済・政治研究所

産・学・官が連携して活発な研究を展開し、研究成果を広く社会に還元しています。

1958年、社会科学系研究所として設置されて以来、研究領域を横断的に統合し学際的な共同研究を展開しています。近年、高度化・グローバル化とともに産・学・官の連携を基軸とした「社会に貢献する研究所」を指向した事業を展開しています。2023年度は、財政と公会計研究班、民主主義の再生と「公共圏」研究班、サブサハラ政策研究班、近代関西経済の発展とアジア・アフリカの国際関係史研

究班、関西ファミリービジネスのBCMと東アジア戦略研究班の5研究班が活動しています。研究成果は『研究双書』『調査と資料』『セミナー年報』として刊行し、学部および大学院教育等へ還元しています。また、社会に開かれた研究所事業の一環として「産業セミナー」と「公開講座」、さらに「公開研究会（公開セミナー）」を開催しています。

先端科学技術推進機構

産学官連携・プロジェクト研究の推進拠点として、人と地球がよりよい未来を迎えるために、科学技術の向上と普及を推進しています。

先端科学技術推進機構は工業技術研究所を前身とし、先端科学技術の研究拠点としてプロジェクト研究、受託研究、学外共同研究等の推進を目的に2002年に改編しました。機構内には、研究員が所属する4研究部門（[N]新物質・機能素子・生産技術、[I]情報・通信・電子、[B]生命・人間・ロボティクス、[E]環境・エネルギー・社会）があります。また、5研究

センター（戦略的研究推進、医工連携研究、地域再生、社会空間情報科学研究、関大メディカルポリマー研究）を設置し、文部科学省採択事業をはじめ、国、独立行政法人等が実施するプロジェクトにおいて積極的な研究活動を展開するとともに、その研究成果を「関西大学先端科学技術シンポジウム」やウェブサイト、刊行物等を通して社会に広く発信しています。

法学研究所

市民の法生活の向上と法文化発展に寄与する「法情報の発信基地」。

法学研究所は、立法、司法、行政に関する理論、政策および実態を総合的に研究調査し、学問的先端領域を開拓するとともに、市民の法生活の質的向上と法文化の発展に寄与することを目的として、1987年に設立された研究機関です。2023年度は、商行為総則・各則規定研究班、インターフェース政治研究班、行政における法執行研究班、技術発展をめぐる

刑事法の課題研究班が活動しています。研究の成果は、公開講座や刊行物として市民や実務家などに還元するよう努めており、高い評価を得ています。また、これまで蓄積してきたマイノリティ研究を基盤として、2008年度から2012年度まで文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「マイノリティ研究センター」が、研究活動を展開し、成果を上げました。

ソシオネットワーク戦略研究機構

総合的政策研究の共同利用・共同研究拠点。

ソシオネットワーク戦略研究機構は、高度な情報通信技術を活用したネットワーク戦略の総合的政策研究を行い、日本を含む世界が直面している社会的課題の解決のための学術的基盤を形成することを目的としています。この目的を達成するために、RISS経済心理学データアーカイブ、経済実験室および視線計測実験室の共同利用や公募研究の拡充を進めているほか、産学官連携、英文査読付

学術誌「The Review of Socionetwork Strategies (RSOC)」の発行など、特色ある取り組みを推進しています。本機構は、2008年10月に、文部科学大臣から「共同利用・共同研究拠点」に新規認定されて以降、継続して認定更新され、研究者コミュニティに開かれた拠点として、学際的かつ実証的な研究を通じて、社会に資する政策の探求と実現に貢献しています。

人権問題研究室

人権に関わるさまざまな問題を調査・研究し、人権感覚あふれる社会の構築をめざします。

1974年に私立大学ではじめて設立された部落問題研究室を、1985年に改組。部落問題、人種・民族問題、障害、ジェンダー等、人権に関わる国内外の諸問題を研究し、学内外における基本的人権の確立とそのための教育・研究の向上に寄与することを目的として設立されました。研究成果は『人権問題研究室紀要』等に発表し、全国の関係機関に配布

するほか、『人権問題研究室室報』によって活動状況や資料の紹介などを行っています。また、人権問題に関する図書・資料を収集して全学の教職員・学生の利用に供しています。さらに、研究成果を学内および社会に広く還元し人権意識の向上に寄与するため、学生、教職員、一般市民を対象にした公開講座も定期的に開催しています。

図書館

トップクラスの施設と蔵書で教育・研究をサポート。古典籍の収集から電子資料の提供まで、充実した機能。

1985年に開館した千里山キャンパスの総合図書館の蔵書数は約220万冊、年間利用者数は約67万人で、大学図書館としてトップクラスの設備と規模を誇ります。本学の中央図書館として、研究者と学生の両方を対象とする蔵書構成とサービス機能を備えています。また、学生の能動的な学修を支援するスペースとしてラーニング・コモンズを設置しています。そのほか、高槻、高槻ミュージズ、堺の各キャンパスにも、それぞれの設置学部・研究科向けの図書館を備えており、キャンパス間相互に資料を取り寄せて利用することもできます。

図書館では、これまでに収集した貴重書や書画・古典籍を教育・研究に活用しつつ、後世に伝えるべき文化財として厳重に保管する一方、その一部を図書館ウェブサイトで公開しています。また、国内外の電子ジャーナルや電子書籍、データベースを利用できる環境を整え、従来の紙の資料と、電子資料の双方を効果的に利用できる図書館として、充実した機能を備えています。

関西大学博物館

約7万点にのぼる実物資料を集めた大学博物館。教育・研究のほか、広く市民にも一般公開し、普及活動も充実。

1954年に故末永雅雄名誉教授（1988年文化勲章受章）が設立した考古学資料室を前身として、1994年4月に博物館相当施設として開館しました。根幹となる資料は、故本山彦一氏（大阪毎日新聞社第5代社長）が蒐集した約2万点の考古資料コレクションで、2011年に一括して国の登録有形文化財に登録されました。重要文化財16点を含む、約700点を常設展示しています。

博物館は、本学に現存する最古の建物「簡文館」（大阪府指定文化財）のなかにあり、展示室の実物資料を使った考古学・歴史学、美術工芸史関係科目や博物館実習の授業を行うほか、地域に開かれた生涯教育の場として、企画展や講演会、キッズ・ミュージアムなどを開催しています。

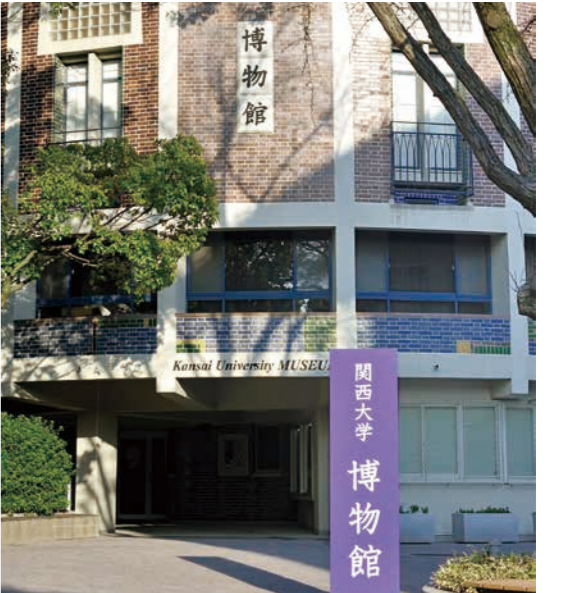
また、博物館前には、本学が深く関わった高松塚古墳の発掘調査（1972年）を顕彰した壁画再現展示室があり、精緻な美術陶板に焼き付けられた原寸大の壁画（レプリカ）を見ることができます。

ITセンター

最先端のITシステムで教育・研究基盤をサポート。

千里山・高槻・高槻ミュージズ・堺などのキャンパスを網羅する高速ネットワーク“関西大学学術情報ネットワーク「KAISER」”を整備、構築し、高度な研究や先進的な教育の支援を行っています。また、本学は国立情報学研究所が運用する「学術情報ネットワーク（SINET）」を利用し、学内外の研究機関との先進的な研究やマルチメディアを活用した多様な教育がストレスなく実施できる環境を整備しています。さらに、学内各所に無線LANアクセスポイントを設置しており、個人所有のパソコンやスマートフォン、タブレット端末などを学内無線LAN「KU Wi-Fi」に接続して利用することができます。

ITセンターには、学生や教職員が自由に利用できるパソコンを設置しています。また、パソコン相談コーナーを設けており、ICT環境を活用するサポート体制を充実させています。

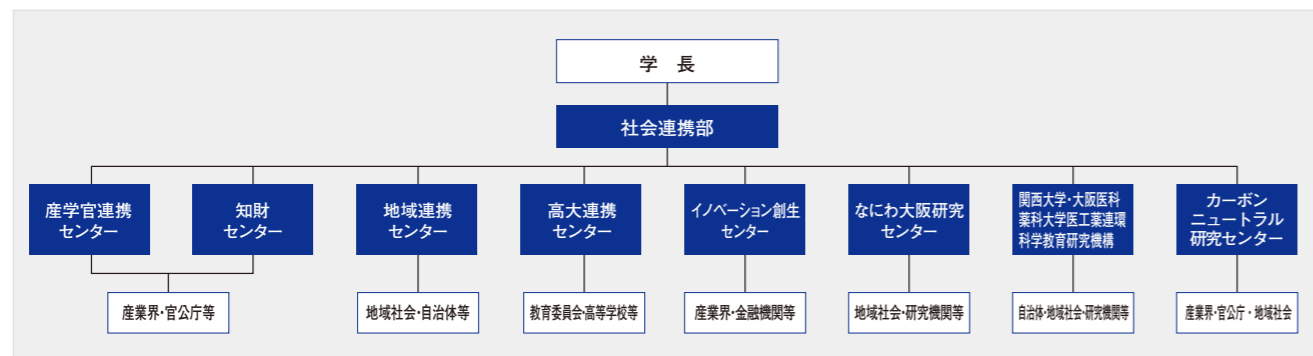


社会連携部

総合大学の「知の創造拠点」として、知的資源の社会還元と有効活用の実現。

社会連携を推進するため、学長直下の全学組織として「社会連携部」を設置し、産学官連携、知的財産の創造・保護・活用、地域連携、高大連携等の推進を通じ、地域社会、産業界との連携を図っています。副学長を部長とし、その傘下に産学官連携センター、知財センター、地域連携センター、高大連携センター、イノベーション創生センター、なにわ大阪研究センター、関西大学・大阪医科薬科大学医

薬学連携科学教育研究機構およびカーボンニュートラル研究センターを設置。多様な本学の知的資源・人材などを活かす組織・体制を構築することにより、「知の創造拠点」として、大学の使命である「社会貢献」を実践します。



産学官連携センター

1964年に工業技術研究所(2002年に先端科学技術推進機構に改編)を開発して以来、研究成果の活用を積極的に行い、産学官連携の促進を図っています。産学官連携センターは、総合大学の多様性を活かした連携テーマにより産業界等との連携を実践しています。また、産学官連携ポリシーに基づき、企業や公共団体等との連携による共同研究や受託研究の推進と研究の機関管理、企業や外部連携機関からの技術相談への対応、技術交流セミナー等の開催による研究成果情報の発信、本学の産学官連携活動に関する学内外への啓発に取り組んでいます。

地域連携センター

地域社会との連携窓口としての役割を果たすとともに、地域連携に関するノウハウの蓄積、連携活動の具体化を図ります。地方自治体や団体、企業との連携協定の締結や、教育研究活動を通じて連携先の課題解決をめざす地域課題解決型事業の展開を推進しています。また、学内外において多様で特色ある公開講座やセミナーを開催し、本学の教育研究活動の成果を広く社会へ届けることにより、開かれた大学の役割の一翼を担っています。

イノベーション創生センター

千里山キャンパス中央に位置する本センターでは、本格的なイノベーション創出の拠点として、総合大学の利点を活かした人文・社会・自然科学系の学問分野の融合、学内外の研究者や技術者との対話・交流を重ねた産学官連携による科学技術の研究開発、関大発ベンチャーの創出および支援、そしてアントレプレナーシップの醸成に取り組んでいます。

関西大学・大阪医科薬科大学医薬学連携科学教育研究機構

医学・工学・薬学・看護学を融合した医薬学連携科学分野において、両大学が連携して、大学の使命である教育・研究・社会貢献に取り組んでいます。両大学の特色を活かし、またその協働によって新たな成果を産み、社会へ提供できるよう尽力しています。

知財センター

知財ポリシーに基づき、研究成果(知的財産)の管理体制の整備(発明規程等取り扱いルールの整備・運用)を行い、研究成果を産業界へ技術移転するための積極的な活動を行っています。また、知財に関するセミナー等の開催や知財インターンシップ事業により、教職員や学生に対する知的財産権に関する啓蒙活動を行っています。

高大連携センター

大学の重要な使命の一つ「次世代の人材育成」を目標に掲げ、同じ使命を共有する教育委員会、高等学校、中学校、小学校、幼稚園、支援学校等と連携を図りながら、さまざまな高大連携事業に取り組んでいます。例えば、高校生が「大学の学び」を体験できる出張講義や公開授業、現職の教員を対象とした研修講座、本学学生が教育現場で就業体験を行う「学校インターンシップ」などが挙げられます。これら各種プログラムを通じ、豊かな教育環境の創出と次世代を担う人材の育成をめざしています。

なにわ大阪研究センター

長年集積してきた豊富な地域研究を学術資産として受け継いでいくこと、総合大学としての特色を活かし、人文科学・社会科学・情報通信学・防災学・理工学等の各分野を統合する「総合科学」の粋を集めて、「大阪を中心とした地域研究のハブ」を形成することを目的としています。「大阪」に生まれ育まれた大学としての社会的な使命と期待に応えるため、全国、さらには世界に向けて情報を発信する「大阪研究の拠点」としてその充実を図ります。

カーボンニュートラル研究センター

教育・研究機関の特性を活かした人材育成と新技術の創出によって、多角的に地球環境の保全に貢献する機関として社会から認知される存在となることをめざして、社会全体のカーボンニュートラル達成に貢献できる人材育成と研究活動の促進や社会、地域と連携したカーボンニュートラルに向けた社会活動の支援に取り組んでいます。CO₂排出量を、2030年度には50%削減、2050年度にはカーボンニュートラルとなることをめざして尽力しています。

梅田キャンパス KANDAI Me RISE

未来へと飛翔する関大人のシンボルとなる都市型拠点。

「人を導き、繋ぎ、自ら起こし、創る“人”を育成～“考動”を実践する場の創出～」をコンセプトに、地域・社会・大学がともに発展できる新たな拠点として2016年10月に開設しました。

梅田キャンパスでは、未来に向けた学びの高度化・多様化のニーズに応えるため、さまざまな交流や知的資源の発信を推進し、その相乗効果によって“大阪”と“人”の活性化を図るべく、主に以下の事業を行っています。

スタートアップ支援事業

活躍する起業家・専門家から直接学べるセミナーや相談会を実施し、「アイデアを実現したい」「こんな会社を起こしたい」など、起業やその支援に興味のある仲間と出会い、交流できる拠点として、キャンパス2階に「スタートアップカフェ大阪」を設置しています。自らのキャリアや生き方を考える上で、選択肢の一つとして「起業」という道があることを広く知ってもらい、学びや出会いの場の創出や実際に起業を志す際の支援などの“関西におけるスタートアップ文化の醸成”を促進します。



在学生や校友のみならず、広く一般に向けて開かれており、地域活性化の拠点にもなっています。

在学生が利用できる施設・プログラム

■キャリアセンター梅田オフィス

大阪市内での就職活動拠点として関大生を支援しています。また、校友も利用可能な各種証明書の発行も取り扱っています。

■アントレプレナーシップ醸成プログラム

企業等と連携し、起業家マインド醸成のためのスキル習得プログラムを「Hack-Academy」として随時開催しています。

■グループ用ミーティングルーム

グループワーク、課外活動用の会議室が事前申請により利用可能です。

東京センター

首都圏における関西大学の活動拠点。

「人が活きる 人を活かす“知のエンタテインメント”」をコンセプトに、本学の人材輩出力・育成力をふまえ、未来に向けて人が輝き、交流し、世の中を活性化させられるよう、さまざまな活動を行っています。

5つの力①学生の就活力 ②OB・OGの求心力 ③企業人との連携力 ④社会人の知力 ⑤研究者のアピール力)の向上に貢献できるよう、首都圏の情報発信基地として本学発の知のちから、人のちからをワフルに支援し、発信しています。

■首都圏への就活をサポートする「情報基地」「活力を蓄える場所」

関西から首都圏を訪れる就活生にとって、JR東京駅隣接というアクセスの良さが最大の魅力です。学生は、資料作成や荷物の一時保管、休憩、着替え、簡単な飲食のスペースとして利用することが可能です。また、各種証明書発行にも対応し、ハード・ソフトの両面から就職活動の支援体制を整えています。

■OB・OGや企業人・メディアへ大学の今を伝える

「PR最前線」「首都圏における情報発信拠点」ウェブサイト・SNSを駆使して最新の研究成果や学生の活躍など、大学の「今」を積極的にPRしています。



社会人向け学び直し・生涯学習事業

■社会人向け大学院教育

社会人向け教育プログラムとして、海外展開を図る企業の人材を養成する「社会人学び直し大学院プログラム」を開講し、高度人材養成に努めています。また、大学院の社会人向け科目も一部開講しています。

■関西大学オープンカレッジ 梅田MeRISE

都市部である梅田の地の利を活かし、多様化する社会人生涯学習ニーズに応える、対話型イベントや教育現場の課題解決セミナーなど、多様なプログラムを展開しています。



会員制異業種交流サロン事業 ~KANDAI Me RISE倶楽部~

自分がより成長するために、集中して学習できる環境が欲しい、魅力的な人材とのネットワークを構築したい、という想いを持っている社会人のニーズに応えるため、会員制の有料コワーキング・ビジネスサロンを展開しています。

職場とも自宅とも異なる、もう一つの居場所を持ち、新しい情報や人材との出会いによって常に自分を向上させるために、本学関係者に留まらず、多様な社会人が活用しています。



■知を介して、人が交流し成長するコンテンツを提供する「学び舎」

主に卒業生を対象として、今日的で実用性の高い企画を提供し、大学と卒業生、そして卒業生同士の連携を密にする「場」と「絆」づくりに向けたコンテンツを創出しています。

さらに、一般の方も参加できる公開講座やセミナーを開催し、首都圏における社会貢献や産学連携活動にも努めています。

〒100-0005
東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー9階

[交通案内]
JR「東京」駅日本橋口に隣接
地下鉄「大手町」駅B7出口直結

学生生活

学生センター

課外活動をはじめ奨学金、各種相談の受付など、**学生生活を多角的にバックアップ**。

大学における学生生活は正課と正課外に大別されますが、学生センターは正課外のあらゆる学生生活を支えるとともに絶えずあるべきキャンパスの姿を模索し、創造していくことが役割です。具体的には、奨学金等の福利厚生面におけるサービス、体育会・文化会・学術研究会・単独パート・同好会・準登録団体等の課外活動の支援、学生生活のあらゆる悩みや不安に対する相談（大学学生相談室）、さらには各種講座やフィールドワークなどの正課外教育プログラム、秋に実施される学園祭へのサポートなど多岐にわたっています。また、ボランティアセンターでは、ボランティアに関する情報提供や多彩なプログラムを開催し、学生がボランティアと出会うきっかけ作りをしています。関西大学での4年間で真に価値のある学生生活となるように、学生センターは学生一人ひとりを応援しています。



課外活動

体育会 (44団体)

アーチェリー部／合気道部／アイススケート部／アイスホッケー部／アメリカンフットボール部／空手道部／器械体操部／弓道部／剣道部／拳法部／航空部／古武道部／ゴルフ部／サッカー部／自転車部／自動車部／射撃部／柔道部／重量学部／準硬式野球部／少林寺拳法部／水上競技部／スキー競技部／相撲部／漕艇部／ソフトテニス部／ソフトボール部／卓球部／テニス部／なぎなた部／馬術部／バスケットボール部／バドミントン部／バレーボール部／ハンドボール部／フェンシング部／ボクシング部／ホッケー部／野球部／ヨット部／ラグビー部／陸上競技部／レスリング部／ワンダーフォーゲル部

体育会付属機関 (3団体)

ATLルーム学生トレーナー部／学生S&Cクラブ／関大スポーツ編集局

単独パート (2団体)

応援団(リーダー部、吹奏楽部、バトン・チアリーダー部)

放送研究会(K.B.C)

※上記のほか、本学では多種多様な課外活動団体が活動しています。

ボランティア活動・ピア・サポート活動

多種多様な活動を通して、「人間力」あふれる人材へと成長するよう支援しています。

ボランティアセンターは、2005年4月、学生の社会参画活動を支援することにより、学生の自主性と社会性の涵養に資することを目的として開設しました。同センターでは、①ボランティア情報の収集および提供②ボランティアに関する相談③地域との連携事業の推進④ボランティアプログラムおよび講座・講習会を実施しています。

ボランティア活動を通してたくさんの人と接し、社会経験を重ねることは、多様な価値観にふれ、新たな気づきを得る瞬間の連続です。学生たちは日々スキルと人間力を身につけ、社会に貢献できる「考動力」あふれる人材へと、成長しています。

また、本学では学生が学生を支援する「ピア・サポート活動」を教職員のバックアップのもと実践しています。さまざまなテーマでピア・サポート活動を実践

関大から世界へ。体育会「カイザーズ」

スポーツ振興センターでは、44の体育会各部の活動支援を行っており、スポーツ諸施設・備品の充実、トレーニング指導体制の確立、体育会専用学生寮の管理、顧問・副顧問会議、監督・コーチ会議の開催、成績優秀者への表彰等をはじめとするスポーツ振興に係わる幅広い環境整備を推し進めています。体育会団体専用のトレーニングジムや、受傷後のリハビリや早期競技復帰をめざしたアスレティックトレーニングルームなども設置しています。また本学の「学生文化のフロントランナー」の担い手としての人材育成を目的としたスポーツ・フロンティア入学試験制度も導入して、各競技の成績向上を図っています。さらに、地域および近隣社会との共生を目標として、地元小中学生を対象とした「クラブ一日体験入部」の実施や、近隣中学校へ学生指導者を派遣するなど、あらゆる観点からスポーツ振興に取り組んでいます。

文化会 (27団体)

囲碁部／映画研究部／演劇研究部／奇術研究部／吟詩部／グリークラブ／軽音楽部／交響楽団／混声合唱団ひびき／茶道部／写真部／書道部／将棋部／速記部／探検部／能楽部／邦楽部／美術部／文芸部／マンドリン倶楽部／ユースホテルクラブ／ユネスコ研究部／レコード音楽部／ギタークラブ／落語大学／混声合唱団「葦」／ポピュラーミュージック創作研究会

学術研究会 (18団体)

英語研究部／経済研究部／現代文学研究部／広告研究部／国文学研究部／史学研究部／会計学研究部／証券研究部／マス・コミュニケーション学研究部／心理学教育学研究部／千里山法律学会／中国語研究部／独逸文学研究部／仏蘭西文学研究部／法律相談所／スペイン語研究部／情報処理研究部／海外調査研究部

奨学金

*国の修学支援新制度の対象者は、給付金額が減額調整されます。

学部 奨学金制度

■ 給付奨学金

・関西大学「学の実化(がくのじつけ)」入学前予約採用型給付奨学金 **給付**^{*}
給付金額 (年額)：関西圏外出身の学生400,000円～550,000円
関西圏内出身の学生300,000円～450,000円

※本学への入学を強く希望し、入学前に予約採用を受けた者のうち、一般入学試験または大学入学共通テスト利用入学試験により入学した学部学生で、経済的理由により修学が困難な者に、標準修業年限給付します (毎年学業成績および「修学状況報告書」による継続審査があります)。
※関西圏は、大阪府・兵庫県・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県の高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)の出身者です。ただし、通信制高等学校出身者は本人の居住地が上記府県の者となります。
※給付金額は学部により異なります。

・関西大学新入生給付奨学金 **給付**^{*}

給付金額 (年額)：300,000円～450,000円
※学部新入生のうち、経済的理由により修学が困難で、かつ、入学試験の成績が特に優秀な者に、1年間給付します (2年次生以降は関西大学学部給付奨学金への出願が可能です)。
※給付金額は学部により異なります。

・関西大学学部給付奨学金 **給付**^{*}

給付金額 (年額)：300,000円～450,000円
※2年次以上に在学する学部学生のうち、経済的理由により修学が困難で、かつ学業成績が特に優秀な者に、1年間 (再出願可) 給付します。
※給付金額は学部により異なります。

・植田奨励金 **給付**

(本学教育後援会 元会長 植田正路氏からの寄付により創設された基金による奨励金)
給付金額 (年額)：500,000円
※2年次以上に在学する優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが、修学に強い熱意のある者に1年間 (再出願可) 給付します。

学部・大学院 共通奨学金制度

■ 給付奨学金

・関西大学文化・学術活動等奨励金 **給付**
給付金額：個人／200,000円を上限として、業績・企画内容により決定
団体／業績・企画内容により決定

※文化、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた業績をあげ、または企画を有する個人または団体を対象としています。

・スポーツ振興奨学・奨励金 **給付**

給付金額：個人／300,000円を上限とする
団体／1,000,000円を上限とする
※スポーツ活動の面で卓越した成果をあげ、かつ人物として優れた者、もしくはスポーツ活動の面で卓越した成果をあげた団体を対象としています。

・国際交流助成基金交換派遣留學奨学金 **給付**

給付金額：(1学期間) 250,000円
(2学期間) 500,000円

・国際交流助成基金短期派遣奨学金 **給付**

給付金額：参加プログラム費に基づき10,000円～120,000円支給

・国際交流助成基金複数学位取得プログラム奨学金 **給付**

給付金額：(1学期間) 300,000円
(2学期間) 600,000円

・認定留學特別援助金 **給付**

認定留学中、「国による高等教育の修学支援新制度」における各区分に該当する授業料減免額に準じて支給します。

・私費外国人留學生入学前予約奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：
授業料の15%～50%の範囲内で各学部・研究科が設定した額
※新入生のうち、学業成績が優秀でありながら経済的に就学困難な私費外国人留學生を対象としています。給付期間は1年間です。

・私費外国人留學生奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：
授業料の15%～50%の範囲内で各学部・研究科が設定した額
※2年次以上に在学する者のうち、学業成績が優秀でありながら経済的に就学困難な私費外国人留學生を対象としています。給付期間は1年間です。

■ 学費減免制度

・認定留學生に対する学費減免制度 **減免**

減免金額：授業料を全額減免

※ただし、学期ごとに認定留學在籍料 (1学期につき100,000円) を納入する必要があります。
※認定留學期間を減免期間とします。

・赤井奨学基金・柳楽奨学基金・久井奨学基金・野田奨学基金 給付奨学金 **給付**
(本学卒業生からの寄付により創設された奨学基金による奨学金)

給付金額 (年額)：240,000円

※2年次に在学する特に優秀な学生で、修学の熱意があり、家計状況により修学が困難な者に3年間給付します (毎年学業成績による継続審査があります)。
※野田奨学基金は総合情報学部生のみを対象としています。

・関西大学校友会学部給付奨学金 **給付**

(関西大学校友会からの寄付により創設された奨学金)

給付金額 (年額)：240,000円

※2年次以上に在学する学業成績が優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが、修学に強い熱意のある者に1年間 (再出願可) または3年間給付します (毎年学業成績による継続審査があります)。

・賛助企業等からの寄付金による奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：240,000円

※春学期に在学する学業成績が優秀な学生で、家計状況により修学が困難であるが修学に強い熱意のある者に1年間 (再出願可) 給付します。

・関西大学大学院入学前予約採用型給付奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：250,000円～375,000円

※本学大学院博士課程前期課程への進学を強く希望し、大学院入学前に予約採用を受けた者のうち、学内進学試験により入学した大学院学生に標準修業年限給付します (毎年学業成績による継続審査があります)。
※給付金額は、進学する研究科およびコースにより異なります。

・関西大学教育後援会家計急変者給付奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：250,000円

※家計支持者が死亡し、家計が急変 (入学以降、出願日から1年以内に限る) したことにより修学が困難となった者に対し、1年間 (在学中一度限り) 給付します。

■ 民間奨学財団・地方自治体等奨学金

・民間奨学財団・地方自治体等奨学金 **給付** **貸与** **貸与**

※民間奨学財団や、地方自治体が設けている奨学金制度です。

※選考基準や内容はそれぞれ異なります。

■ 緊急・応急奨学金

家計急変のために緊急に奨学金が必要となった場合には、緊急・応急採用があります。

・関西大学災害時支援給付奨学金 **給付**

給付金額：授業料相当額を上限とする

※1.災害救助法または天災融資法の適用された災害により、学部・大学院学生または学費支弁者の居住する家屋が損壊、滅失または流失し、家計が急変した者
※2.災害救助法または天災融資法の適用された災害により、学部・大学院学生の学費支弁者が死亡または所定の長期療養者となり、家計が急変した者

・関西大学家計急変者給付奨学金 **給付**

給付金額 (年額)：240,000円

※家計支持者の死亡や失業、廃業などの事由で家計が急変 (入学以降、出願日から1年以内に発生した事由に限る) したことにより修学が困難となった者に対し、1年間 (在学中1回限り) 給付します。

※給付事由は本学在学中に生じたものに限ります。

※出願は、給付事由が発生した日から1年を超えない期間内に行う必要があります。

・関西大学応急貸与奨学金 **貸与(無利子)**

貸与金額：1学期分の授業料相当額

※奨学金採用予定時から1年以内に、家計支持者の死別や失職、倒産などの著しい収入の減少、または火災・風水害・震災などの災害により、家計が急変した場合に貸与します。
※専門職大学院生は対象外です。

■ 短期貸付金

家庭からの仕送りの遅延や急病など、やむを得ない事由により、一時的あるいは緊急に生活資金が必要となった場合に備えて、短期貸付金制度を設けています。

・関西大学短期貸付金 **一時貸与(無利子)**

貸与金額：原則1,000円～30,000円まで (即日貸与)

学生生活

大学院 奨学金制度

■ 給付奨学金

・関西大学大学院特別給付奨学金 **給付**

給付金額：500,000円～750,000円

※入学試験において特に優秀な成績を取めた者に標準修業年限給付します（毎年学業成績等による継続審査があります）。

※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

・関西大学大学院給付奨学金・教育助成基金給付奨学金 **給付**

給付金額：250,000円～375,000円

※学業成績が特に優秀で、かつ本学が定める家計基準を満たす者に1年間（再出願可）給付します。

※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

専門職大学院 奨学金制度

■ 給付奨学金

・関西大学法科大学院給付奨学金 **給付**

給付金額：下記A：授業料および教育充実費の全額相当額

下記B：授業料および教育充実費の全額または半額相当額

※法曹コース特別選抜入学試験合格者全員（A）に対し、2年間給付します。

原則、進級する（原級留置にならない）限り、連続した給付を行います。

※卒業見込特別入学試験合格者全員（A）・一般入学試験、実務経験者特別入学試験成績優秀者（B）に対し、法学既修者コースは最長2年間、法学未修者コースは最長3年間（長期履修学生制度適用者は最長4年間）給付します。入学後2日目からは全在生をを対象として、前年までの学業成績を基準に毎年審査を行います。

・関西大学社会人大学院学生給付奨学金 **給付**

給付金額：250,000円～375,000円

※関西大学大学院給付奨学金の家計基準を超える収入の社会人大学院生で、成績に加え、各研究科で定める優秀な社会人業績を取めている者に1年間（再出願可）給付します。

※給付金額は課程、研究科およびコースにより異なります。

・関西大学法科大学院学習奨励金 **給付**

給付金額：本学の授業料および教育充実費から国立大学における授業料を差し引いた金額相当額

※関西大学法科大学院給付奨学金の対象にならなかった者に対し、法学既修者コースは最長2年間、法学未修者コースは最長3年間（長期履修学生制度適用者は最長4年間）給付します。

※標準修業年限を超える場合および進級できなかった場合（原級留置となった場合）は給付対象者から除きます。

・関西大学会計専門職大学院給付奨学金 **給付**

給付金額：授業料の全額相当額または半額相当額

※新入生は高度な資格取得者または入学試験成績優秀者に、在生は前年度学業成績優秀者に、標準修業年限または1年間給付します。

学生寮

教育的効果を期待する施設として5つの学生寮を設置し、豊かな人間力を育成。

学生国際交流館・秀麗寮

(男女共生寮：定員180人)



千里山キャンパスから徒歩約5分の場所にあります。この寮では、海外協定大学からの交換受入留学生が関西大学の一般学生とともに入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。

ドミトリー月が丘

(女子寮：定員102人)



千里山キャンパスから徒歩約15分の場所にあります。この寮では、海外協定大学からの交換受入留学生が関西大学の一般学生とともに入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は2人部屋で、共用施設も充実しており、日常生活の中で自然な国際交流ができる環境となっています。また、管理人が住み込みで常駐しています。

南千里国際プラザ留学生寮

(男女共生寮：定員169人)



千里山キャンパスから自転車で約15分、阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約5分の場所にあります。この寮では、留学生別科生のほか、関西大学の一般学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は全室ユニットバスを備えた1人部屋で、共用施設も充実しており、地域の方々と交えた異文化交流を展開しています。

南千里国際学生寮

(男女共生寮：定員144人)



千里山キャンパスから自転車で約20分、阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約10分の場所にあります。この寮では、交換受入留学生のほか、関西大学の一般学生も入寮しており、レジデント・アシスタントが入寮者の日常生活をサポートします。寮室は1人部屋で、共用施設が充実しており、地域の方々と交えた異文化交流を展開しています。

千里凱風寮

(男子寮：定員53人)



2004年に教育後援会の寄贈により建設された体育会専用寮で、千里山キャンパスから徒歩20分程度の住宅地に建てられています。寮室は1人部屋で在寮年限は4年間。鉄筋コンクリート造3階建て、1階には浴室、パントリー、コインランドリー、乾燥室があり2、3階にシャワー室を備えています。

※その他、提携国際学生寮「KU I-House」があります。

キャリアセンター

多彩なプログラムやサポート体制で、学部1年次生から4年次生、大学院生の進路選択・就職活動を力強く支援。

学生一人ひとりの将来の夢を実現させるために、さまざまなサポートを行っています。低年次から段階的に自分の将来のあり方を考えるために、正課のキャリア教育科目に加えて、キャリアデザインや実践的なスキル・知識を学ぶセミナー、企業等で就業体験をするインターンシップなど多彩なプログラムを実施しています。とりわけ、1・2年次生対象の企業連携型キャリアスタートプログラムは、「キャリア開発能力」を高め、正解がない課題に「最適解」を導く力を育むためのPBLを基軸としたプログラムです。そのほか、多数の優良企業を招く学内業界研究セミナー、企業研究セミナー、各種就職活動対策講座、OB・OGとの懇談会を開催（オンラインを含む）するなど、多彩なプログラムで学生をサポートしています。さらに、スタッフと1対1で就職や進路等、将来に関する相談にきめ細かく対応できる環境を整備し、専門のキャリアカウンセラーに相談できる「キャリアカウンセリングルーム」も設置しています。

【各キャンパスのキャリアセンター】

・千里山キャンパス	キャリアセンター事務室、キャリアセンター理工系事務室、キャリアカウンセリングルーム、キャリアデザインラボ
・高槻キャンパス	キャリアセンター高槻キャンパス分室
・高槻ミューズキャンパス	キャリアセンター高槻ミューズキャンパス分室
・堺キャンパス	キャリアセンター堺キャンパス分室
・首都圏、大阪都心部での就職活動サポート拠点:東京センター、キャリアセンター梅田オフィス(梅田キャンパス内)	



エクステンション・リードセンター

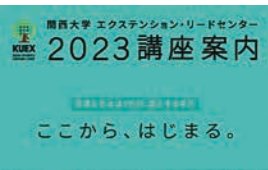
高い合格率を誇る対策講座を開講し、各種資格取得・難関国家試験合格を支援しています。

在学生のキャリア形成やその先の将来の選択肢を広げるための支援を目的とし、各種資格取得および難関国家試験受験のための対策講座を提供するとともに、卒業生や一般の方にも門戸を開いています。

各講座は、それぞれの特性に合わせた教育効果の高い講義形態と合格直結型のカリキュラムにて構成され、いずれも毎年高い合格率と実績を誇ります。さらに、関大生特別価格での提供やキャンパス内で学習できることなど、さまざまな面で学内講座のメリットが大きく、受講者の約9割から「満足している」との評価を得ています。

【2023年度開講講座一覧】

・英語講座	・公務員講座	・司法講座
・簿記検定講座	・公認会計士講座	・税理士講座
・就職試験対策講座	・デジタル関連講座	・日本語教育能力検定直前対策講座
・行政書士WEB講座	・宅地建物取引士講座	・ファイナンシャル・プランナー講座
・総合旅行業務取扱管理者WEB講座	・ビジネス資格バックWEB講座	



学生相談・支援センター

学生相談全体の「総合相談窓口」と「障がいのある学生の修学支援に関する相談窓口」です。

学生の相談内容に応じて専門部局へのコーディネートを行う「総合相談窓口」と「障がいのある学生に対する修学支援窓口」の2つの機能を持っています。

「総合相談窓口」としては、「どこに相談に行けばいいのかわからない」といった学生の相談内容に応じて、教務センター、授業支援ステーション、学部オフィス、各キャンパスオフィス、学生センター、キャリアセンター、国際部、保健管理センター、入試センターなどの専門部局を案内しています。

「障がいのある学生に対する修学支援窓口」としては、障がい学生支援コーディネーターを配置し、正課授業を中心に障がいのある学生が他の学生と分け隔てられることなく修学できるように、関係部署等と連携して合理的配慮を提供しています。

また、カウンセラー（公認心理師・臨床心理士など）が心理的援助を行う心理相談室を千里山キャンパス、高槻キャンパス、高槻ミューズキャンパス、堺キャンパスに設けています。



保健管理センター

心身ともに充実したキャンパスライフを送るための、健康支援を行っています。

学生および生徒・児童・園児ならびに教職員の健康を保持、増進することを目的として、保健管理に関する専門的業務を行い、健康な大学生活が送れるように、定期健康診断などの健康支援を行っています。千里山キャンパスには保健管理センターおよび第一診療所があり、高槻キャンパス、堺キャンパスには保健室、高槻ミューズキャンパスには保健センターがあります。疾病や健康に関する疑問、悩み、不安、心配ごと等の相談に、医師・保健師・看護師が応じています。



国際部 真のグローバル人材を育成するインターカルチュラル・イマージョンキャンパスの実現。

本学の国際化戦略を描いた「関西大学国際化戦略2014-2023 TRIPLE I (トリプル・アイ) 構想」に基づき、豊かな国際感覚と高度なコミュニケーション能力を身につけた、真のグローバル人材の育成を積極的に推進しています。異文化交流によるイマージョン空間を実現することで、留学生と日本人学生が日本語と外国語を駆使して、教室の内外で多様な価値観や問題解決能力を、実践を

通して育むことができるよう、多彩なプログラムの開発・提供に取り組んでいます。また、イマージョン空間の実現に向けて、海外の大学と活発な学生および研究者の交換ができるよう、協定校の開拓を進めています。協定校は204校(2023年1月現在)に及んでいます。

COIL等の実践を活用し、渡航留学も推奨する「ブレンド型国際教育」の実践を通して、より多くの学生により深掘りした国際的な学びを提供。

本学の学生はCOILを通し、12カ国、30以上が加盟しているIIGE Global Partner Networkの世界の大学・高等教育機関とも、オンラインで共修を行います。2018年度には、「グローバル教育イノベーション推進機構 (IIGE)」を開設しました。この機構は、日本におけるオンライン型

国際交流学習のハブ的存在であり、次世代の社会で必要な「Future Ready Skills」を備えた人材を育成する活動を進めています。また、本学は「JPN-COIL協議会」という現在50超の国内著名大学等が加盟するネットワークの幹事校も務めており、国内外の大学との連携を進めています。

海外協定校

イタリア

ローマ大学ラ・サピエンツァ
フィレンツェ大学

ウズベキスタン

タシケント金融大学
タシケント国立東洋学大学

イギリス

バーミンガム大学
ロンドン大学SOAS
ラフバラ大学
アストン大学
イーストアングリア大学
ノーサンブリア大学
マンチェスター・メトロポリタン大学
レスター大学
ロンドン大学バークベック校
ノーサンブトン大学

エストニア

エストニアビジネススクール

オランダ

エラスムス大学カレッジ
ハーグ応用科学大学
ハンザ応用科学大学

キルギス共和国

中央アジア・アメリカ大学

クロアチア

ザダル大学

スイス

チューリッヒ大学

スウェーデン

リンネ大学
リンショーピン大学

スペイン

サンティアゴ・デ・コンポステラ大学
アルカラ大学
コルドバ大学

デンマーク

ロスキレ大学
オールボー大学

ドイツ

ゲッティンゲン大学
ケルン大学
コンスタンツ大学
エアランゲン・ニュルンベルク大学
ドレスデン工科大学
ギーゼン大学
ヴィアドリナ欧州大学
ヴィッテン・ヘルデッケ大学
ブフォルツハイム大学
SRHベルリン応用科学大学

ノルウェー

西ノルウェー応用科学大学

フランス

パリ第3大学
パリ大学
西カトリック大学
ル・アーヴル大学
インセックビジネス・エコノミクススクール
パリ・エスト・クレティユ大学
EIGSIエンジニアリングスクール
サンジェルマン・アン・レー政治学院

ベルギー

ルーヴェン大学
ヘント大学

ポーランド

ヤギェウォ大学
グダニスク工科大学
シレジア工科大学
ニコラウス・コペルニクス大学

ロシア

太平洋国立大学
アストラハン国立大学
ウリヤノフスク国立大学

インド

ベナレス・ヒンドゥー大学
ゴア大学パーベイバイチョウグルカレッジ
IILM Institute for Higher Education
アムリタ大学
シンピオシス国際大学

インドネシア

ガジャ・マダ大学
パダン州立大学

スリランカ

コロンボ大学

タイ

タマサート大学
チュラロンコン大学
キングモンクット工科大学
トンプリ校

カセサート大学
チェンマイ大学
バンヤピワット経営大学(PIM)
ランカムヘン大学
ランシット大学
泰日工業大学

韓国

漢陽大学
東亜大学
嶺南大学
高麗大学
又松大学
慶尚大学
慶熙大学
国立慶北大学
誠信女子大学
韓国カトリック大学
建国大学
東国大学
東西大学
国立釜慶大学
慶南大学

中国

遼寧大学
復旦大学
東北大学
北京大学
香港中文大学
北京外国語大学
華中師範大学
華南師範大学
浙江工科大学
中央民族大学
北京郵電大学
香港教育大学
寧波大学
東華大学
厦門大学
電子科技大学
河海大学
山東師範大学
上海外国語大学
広東外語外貿大学

バングラデシュ

ノース・サウス大学
ダッフォディル・インターナショナル大学
ジャハンギルナガル大学

フィリピン

国立ブラカン大学
ホーリーエンジェル大学
フィリピン工科大学
フィリピン大学バギオ校
エンデランカレッジ
デ・ラ・サル大学

ブータン

ブータン王立大学
ロイヤル ティンブー カレッジ

ベトナム

ベトナム国家大学ハノイ
貿易大学
ハノイ工科大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
人文社会科学大学
FPT大学
ダナン大学
ベトナム国家大学ホーチミン市
工科大学

マレーシア

マレーシア科学大学
ケバングサン(マレーシア国民)大学
マレーシア・パハン大学
マレーシア工科大学
マレーシア国際イスラム大学
テイラー大学
マラヤ大学
ヘルプ大学

アメリカ

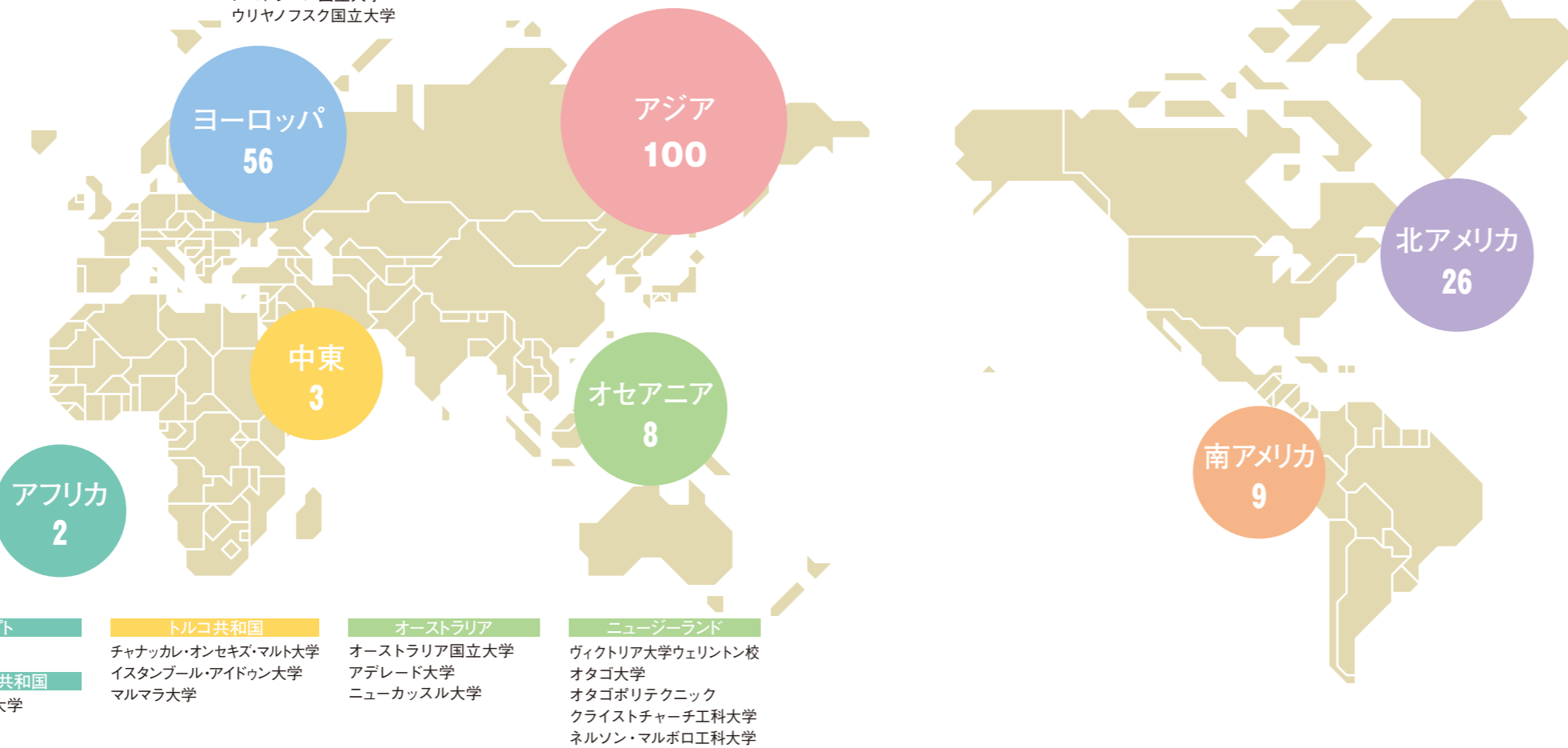
ウェブスター大学
ブリッジウォーター州立大学
セント・マイケルズ大学
ミズーリ大学セントルイス校
サウスカロライナ大学
北アリゾナ大学
ハワイ大学マノア校
カリフォルニア州立大学フラトン校
パデュエ大学ノースウェスト校
ヴァルドスタ州立大学
サザン・ニュー・ハンブシャー大学
チャタム大学
ミズーリ大学カンザスシティ校
北イリノイ大学
ニューヨーク州立大学アルバニー校
ハワイ大学ヒロ校
ジョージ・メイソン大学
ハワイ大学カピオラニ校
クレムソン大学
カリフォルニア州立大学
ベーカーズフィールド校
西ワシントン大学
カンザス大学
ボートランド州立大学

メキシコ

モレロス州立自治大学
メキシコ州立自治大学
モンテレイ大学
モンテレイ工科大学

カナダ

アルゴマ大学
セネカ・カレッジ
メディシンハット・カレッジ



エジプト

カイロ大学

南アフリカ共和国

ステレンボッシュ大学

トルコ共和国

チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学
イスタンブール・アイドゥン大学
マルマラ大学

オーストラリア

オーストラリア国立大学
アデレード大学
ニューカッスル大学

ニュージーランド

ヴィクトリア大学ウェリントン校
オタゴ大学
オタゴポリテクニク
クライストチャーチ工科大学
ネルソン・マルボロ工科大学

国際教育

外国人留学生および海外留学をめざす日本人学生に対し、英語で教養および専門知識を学ぶ「グローバル・フロンティア科目」の設置をはじめとして、双方が共に学び交流する環境を整備しています。さらに、外国人留学生に対しては、専用の科目を提供するほか、日本語・日本文化教育プログラムとして、「進学コース(留学生別科)」「語学留学コース」「短期語学研修コース」「学習支援コース」を展開し、さまざまなニーズに対応しています。また、本学学生に対しては、半年～1年の交換派遣留学や認定留学、春・夏季休業期間中の語学セミナー、オンラインプログラムなどを実施し、実践的な留学の機会を提供しています。



国際研究

海外の研究者との交流を支援するため、研究者交流協定(覚書)を締結している大学との間で「交換研究者」を受入および派遣しています。また、本学の教育・研究の一層の向上を図るため、海外で活躍する研究者を招へいする「外国からの招へい研究者」の制度も設けています。

南千里国際プラザ

充実した設備を整えた留学生別科の教育施設と留学生寮を併設した、国際教育・異文化交流施設です。このプラザのめざすところは、世界中から参加する留学生と関西大学の一般学生の交流に留まらず、南千里の地域住民の方々も交えた「共に学ぶ異文化交流」です。



留学生別科では、本学をはじめ日本の大学・大学院への進学をめざす留学生が日本語・日本文化等を学び、留学生寮では、本学の一般学生と留学生が共に生活し、互いの国際感覚を磨いています。

エムアイルーム Mi-Room

異文化コミュニケーションを通じた学びの空間。

Mi-Room (Multilingual Immersion Room) は、異文化コミュニケーションを実体験し、留学を視野に入れた外国語運用能力向上の機会をキャンパスライフに取り込むことができる学習スペースです。ここでは、担当教員やGTA (Global Teaching Assistant, 主に海外からの留学生や、国際経験豊かな関大生が担当) が英語をはじめ、さまざまな外国語学習や文化交流のプログラムを実施しており、学生一人ひとりの目標に合わせて参加することができます。留学生との交流やさまざまな国の学生同士で行うグループワーク、世界各国の協定校と交流できるオンラインイベントなど、自由なスタイルでの活用が可能です。開室時間中は自由に出入りができ、留学・海外協定校の資料や過去に海外留学を経験した学生の体験記、語学学習関係図書も配架していますので、留学前後の準備・学習にも活用できるようになっています。



ケーコーコイル KU-COIL

世界中の学生とオンラインで共修する。

COIL (Collaborative Online International Learning) は、ICTツールを用いて、海外の大学に属する学生とバーチャルに連携しながらプロジェクトに取り組む新しい教育実践法です。

国内にいながら異なる文化背景を持った海外の学生と協働学習を行うことができ、異文化理解や異文化間コミュニケーションスキルを培うことができます。そして英語をはじめとする外国語で、意思疎通する経験を在学中に多く積むことができます。さらに、COILの根幹となる協働学習では、学生中心の課題解決型学習(PBL)を海外の学生と行うことで、メディアリテラシーやチームワーク・スキル、リーダーシップなどの21世紀に必要とされるスキルを同時に養います。

COILの導入以来、世界20以上の国・地域の大学とネットワークを構築し、学問分野を問わず多様な授業を展開しています。今後も世界で活躍する優れた人材の育成や、国際教育および国際学習ツールとしてCOILを活用していきます。



留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS

高度外国人材の育成と、多様な人材が活躍する社会の実現をめざす。



「留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS」とは、本学が中心となり、全国16大学が参画し、各種経済団体、自治体との連携のもと、外国人留学生在が卒業後、日本における高度外国人材として定着・活躍することを目的とした就職支援プログラムです。

プログラムの参加学生は、日本における就職活動や日本社会を理解し、キャリア教育・ビジネス日本語・インターンシップを体系的かつ徹底的に経験しながら進路決定をめざします。

また、高度外国人材を求める企業に対しては、人材活用スキルの支援を行うことにより、多様な人材が活躍する次世代の日本社会の実現に寄与します。

関西大学校友会

全国で活躍する卒業生50万人のネットワーク。
校友の母校愛と社会での活躍が大学の発展を支えています。

関西大学校友会は、学校法人関西大学が設置する高等学校以上の卒業生を会員とし、会員相互の交流と母校の発展に寄与することを目的とした大学の外郭団体です。卒業生は延べ50万人を超え、海外支部を含む140以上の地域支部をはじめ、職域会や同期会等は約100団体を数えます。本部事務局を校友・父母会館内に置き、大学の経営に参画する校友評議員の候補者推薦、機関誌「関大」の年6回(奇数月)発行、大学から委託を受けて行う校友住所のデータ管理業務、「関西大学校友カード」発行等の事業を通じ、母校と校友、校友相互の連絡機関として重要な役割を果たしています。一方、学生に対しては校友会独自の「学生振興支援基金規程」を制定し、学生への功績表彰制度・給付育英奨学金制度・学生助成制度を設け、学術振興、スポーツ・文化などの課外活動を支援しています。また、母校愛にあふれた校友が社会の各界各層で活躍することにより、関西大学の評価をいっそう高め、多くの校友が母校への物心両面にわたる積極的な支援活動を展開する中核として、「活力ある校友会」は躍進する関西大学を支え、歩みを共にしています。



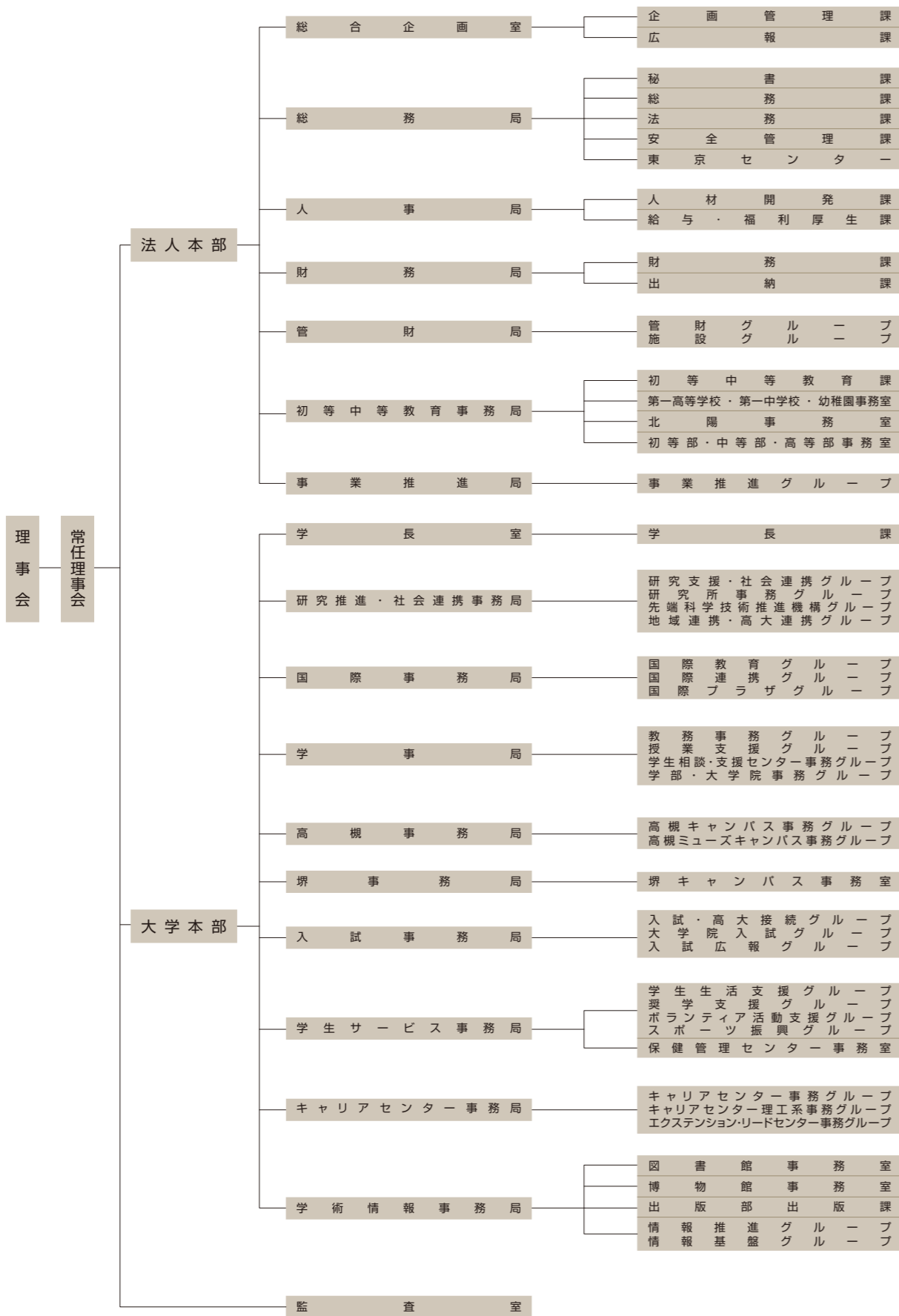
関西大学教育後援会

全在学生の父母等により組織されている教育後援会。
多彩な活動で「大学と家庭の心のかけ橋」を築いています。

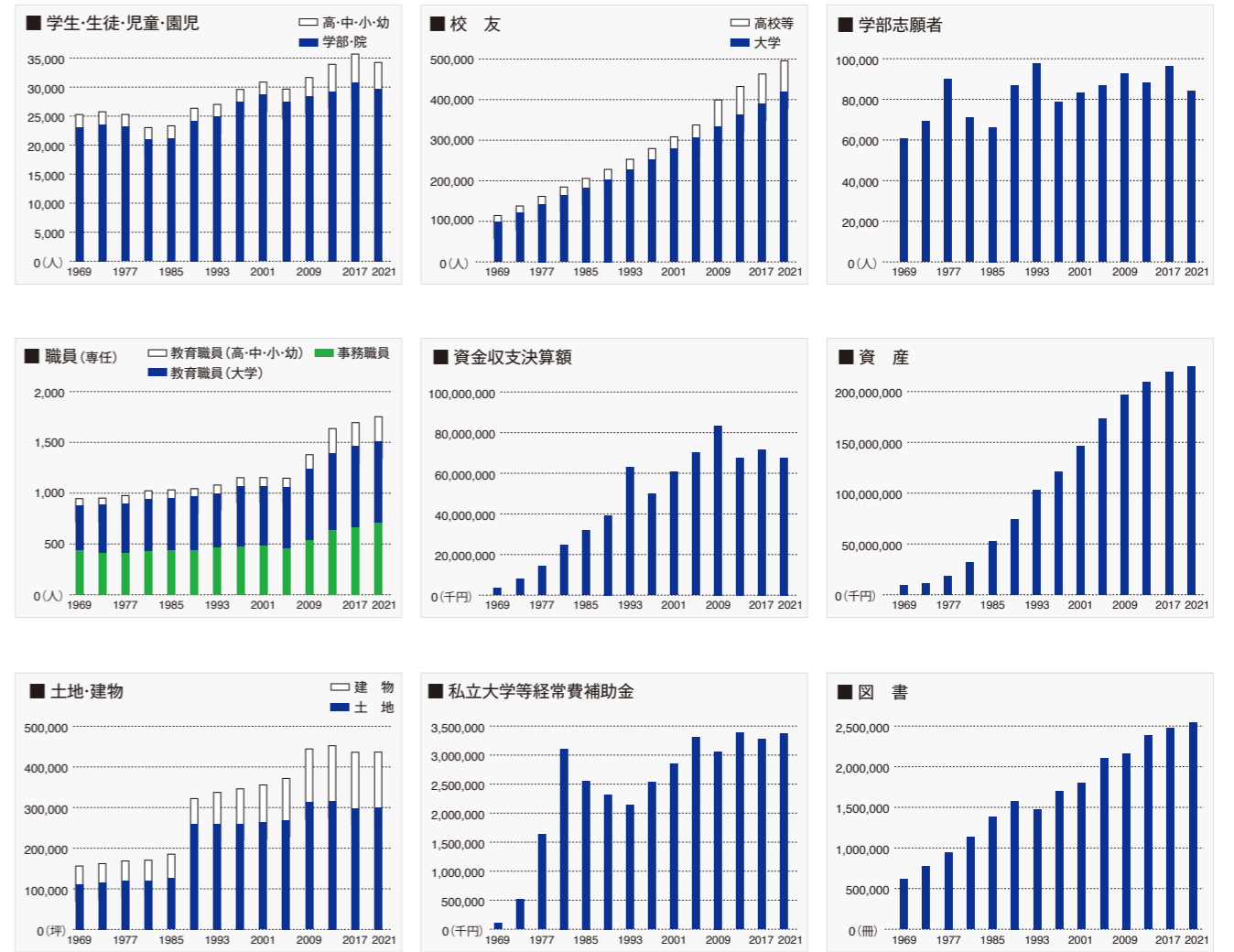
関西大学教育後援会は、1947年に発足した在学生の父母等によって組織されている大学の外郭団体です。「大学と家庭の心のかけ橋」として、千里山キャンパスでの総会・学部別教育懇談会や就職説明懇談会、全国主要都市における地方教育懇談会を実施しています。また、会報「葦」や新入生父母向け大学ガイド『みちしるべ』の発行のほか、セミナーハウスの利用受付、就職や課外活動などへの支援といった、学生生活をサポートする多様な活動によって、大学と家庭の連携を図り、有為な人材育成拠点づくりに寄与しています。さらに、生涯学習にも目を向け、教育後援会が運営する飛鳥文化研究所・植田記念館と奈良県明日香村との共催による「飛鳥史学文学講座—やまとあすかまほろば塾—」を開催しています。父母等との対話を通じて大学教育への理解を促し、一貫して家庭教育の重要性を訴え続け、2017年には創立70周年を迎えました。教育後援会の活動が、大学と家庭のつながりを強くし、実りある学生生活や教育研究の充実・発展へと結びついています。



2023年4月1日現在



関西大学規模比較表(1969~2021)



年度	学生・生徒・児童・園児		校友		学部志願者 ^{※1}	教育職員(専任)		事務職員(専任および専任に準ずる者)	資金収支決算額	資産	土地・建物		私立大学等経常費補助金	図書
	高・中・小・幼	学部・院	高校等	大学		高・中・小・幼	大学				土地	建物		
2021 ^{※2}	4,752人	29,506人	77,932人	419,890人	83,520人	247人	806人	712人	68,052,549千円	229,477,314千円	297,707坪	140,665坪	3,374,879千円	2,543,806冊
2017	4,917人	30,766人	74,152人	390,535人	96,520人	240人	798人	661人	71,890,145千円	225,658,179千円	296,572坪	141,351坪	3,269,760千円	2,474,808冊
2013	4,792人	29,263人	70,557人	361,819人	87,846人	237人	760人	633人	67,368,097千円	209,224,912千円	315,038坪	139,197坪	3,385,625千円	2,384,458冊
2009	3,348人	28,382人	67,256人	333,196人	92,560人	147人	695人	541人	83,452,728千円	197,199,421千円	312,744坪	132,887坪	3,060,252千円	2,165,453冊
2005	2,296人	27,444人	32,894人	305,783人	86,831人	90人	607人	455人	70,280,651千円	173,088,984千円	269,033坪	103,785坪	3,307,045千円	2,098,824冊
2001	2,279人	28,668人	31,119人	278,336人	83,127人	88人	585人	485人	60,773,301千円	146,700,913千円	263,276坪	93,631坪	2,847,089千円	1,801,239冊
1997	2,166人	27,509人	29,329人	251,300人	78,616人	86人	600人	471人	49,786,731千円	121,340,392千円	260,193坪	87,045坪	2,528,109千円	1,694,060冊
1993	2,158人	24,942人	27,536人	226,655人	97,670人	86人	537人	462人	62,967,331千円	102,777,192千円	259,530坪	79,003坪	2,136,268千円	1,477,740冊
1989	2,273人	24,155人	25,671人	203,509人	86,884人	87人	523人	439人	39,333,881千円	74,480,728千円	260,643坪	62,645坪	2,320,148千円	1,578,101冊
1985	2,191人	21,218人	23,782人	183,102人	66,271人	87人	514人	436人	31,906,912千円	52,906,901千円	125,981坪	60,435坪	2,555,668千円	1,380,710冊
1981	2,144人	20,957人	21,959人	163,768人	70,912人	87人	512人	429人	24,632,873千円	31,841,887千円	120,864坪	50,854坪	3,111,070千円	1,130,621冊
1977	2,196人	23,171人	20,219人	142,551人	89,817人	82人	493人	406人	14,170,179千円	18,678,340千円	120,723坪	49,087坪	1,634,137千円	946,658冊
1973	2,304人	23,524人	18,391人	120,560人	69,292人	73人	472人	411人	7,866,754千円	11,619,904千円	114,998坪	48,230坪	514,178千円	771,942冊
1969	2,253人	23,103人	16,504人	98,925人	60,687人	69人	446人	436人	3,490,814千円	9,399,128千円	110,683坪	46,626坪	106,651千円	613,710冊

※1) 併設校からの進学および推薦入学を含み、当該年度に実施した入試の人数を示す。 ※2) 2021年5月1日現在。

キャンパス案内

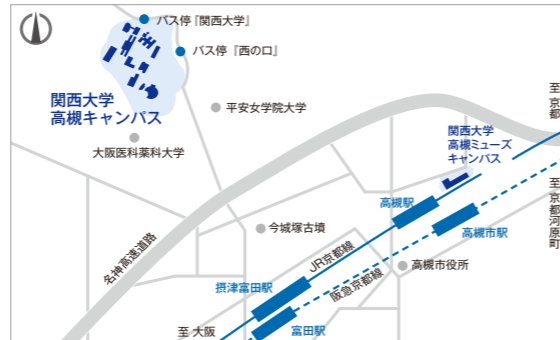
千里山キャンパス



学 部：法学部、文学部、経済学部、商学部、社会学部、政策創造学部、
外国語学部、システム理工学部、環境都市工学部、化学生命工学部
大学院：法学研究科、文学研究科、経済学研究科、商学研究科、
社会学研究科、理工学研究科、外国語教育学研究科、
心理学研究科、東アジア文化研究科、ガバナンス研究科、
法科大学院、会計専門職大学院
併設校：関西大学第一中学校・第一高等学校、関西大学幼稚園

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL. 06-6368-1121(大代表)
■ 阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ(正門までは徒歩約5分)

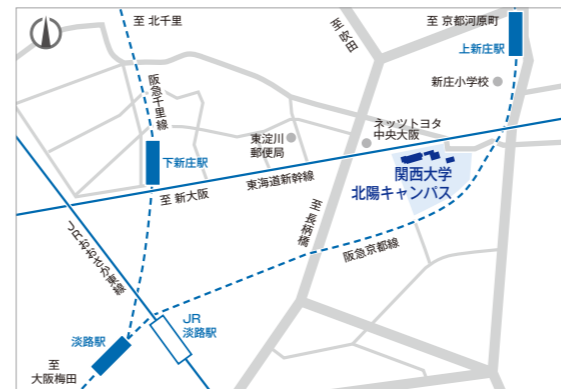
高槻キャンパス



学 部：総合情報学部
大学院：総合情報学研究科
〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町2-1-1
TEL. 072-690-2161
■ JR京都線「摂津富田」駅または「高槻」駅下車。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し「関西大学」停留所下車(所要時間約20分)
■ 阪急電鉄京都線「富田」駅または「高槻市」駅で下車し、それぞれJR京都線「摂津富田」駅(所要時間約5分)、「高槻」駅(所要時間約10分)まで徒歩。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し、「関西大学」停留所下車(所要時間約20分)
※高岳館、グラウンド、アイスアリーナへは「西の口」バス停留所下車

■ JR京都線「摂津富田」駅または「高槻」駅下車。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し「関西大学」停留所下車(所要時間約20分)
■ 阪急電鉄京都線「富田」駅または「高槻市」駅で下車し、それぞれJR京都線「摂津富田」駅(所要時間約5分)、「高槻」駅(所要時間約10分)まで徒歩。高槻市営バス「関西大学」「萩谷」「萩谷総合公園」行きのいずれかに乗車し、「関西大学」停留所下車(所要時間約20分)
※高岳館、グラウンド、アイスアリーナへは「西の口」バス停留所下車

北陽キャンパス



併設校：関西大学北陽中学校・北陽高等学校
〒533-0006 大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26
TEL. 06-6328-5964
■ 阪急電鉄京都線「上新庄」駅から徒歩約8分
■ 阪急電鉄千里線「下新庄」駅から徒歩約13分
■ JRおおさか東線「JR淡路」駅から徒歩約15分

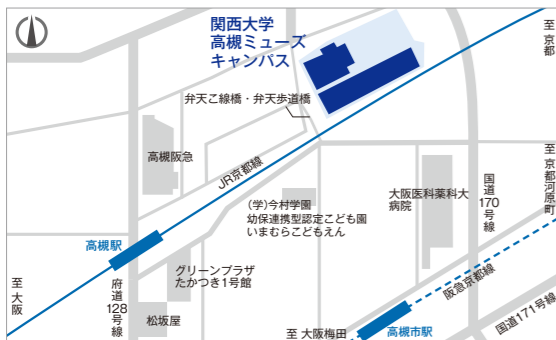
併設校：関西大学北陽中学校・北陽高等学校
〒533-0006 大阪府大阪市東淀川区上新庄1-3-26
TEL. 06-6328-5964
■ 阪急電鉄京都線「上新庄」駅から徒歩約8分
■ 阪急電鉄千里線「下新庄」駅から徒歩約13分
■ JRおおさか東線「JR淡路」駅から徒歩約15分

路線図

関西大学へお越しの際は、
公共の交通機関をご利用ください。



高槻ミュージズキャンパス



学 部：社会安全学部
大学院：社会安全研究科
併設校：関西大学初等部・中等部・高等部

〒569-1098 大阪府高槻市白梅町7-1
TEL. 072-684-4000
■ JR京都線「高槻」駅から徒歩約7分
■ 阪急電鉄京都線「高槻市」駅から徒歩約10分

堺キャンパス



学 部：人間健康学部
大学院：人間健康研究科

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1-11-1
TEL. 072-229-5022
■ 南海電鉄高野線「浅香山」駅下車、すぐ

梅田キャンパス



〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-5
TEL. 06-4256-6410
■ 阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩約5分
■ JR「大阪」駅から徒歩約8分

〒530-0014 大阪府大阪市北区鶴野町1-5
TEL. 06-4256-6410
■ 阪急電鉄「大阪梅田」駅から徒歩約5分
■ JR「大阪」駅から徒歩約8分

南千里国際プラザ



別 科：関西大学留学生別科

〒565-0855 大阪府吹田市佐竹台1-2-20
TEL. 06-6831-9180
■ 阪急電鉄千里線「南千里」駅から徒歩約5分